情報システム 学科　　2　　年

科 目 名	システムPBLⅡA							学期	後　　期
担当教員	赤江　賢治	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	4
関係実務等	2008年4月～株式会社日本オープンシステムズにてシステムエンジニア								
学習目的	前期の各専攻分野で学習したことを元に、グループで簡単な模擬システムを作成しする。								
授業内容	グループまたは個人で各専攻ごとにシステムの研究・企画・製作した成果を発表する。								
学習目標	目的に応じたWebアプリケーションを構築し、設計に沿ったシステムを作成することができる								
使用テキスト	専攻ごとに指定する								

週数	授業計画
1	システムの作成実習 ・システム作成の計画・プログラム設計
2	システムの作成実習 ・システム作成の計画・プログラム設計
3	システムの作成実習 ・システム作成の計画・プログラム設計
4	設計書を元に、各自作成予定表を作成 必要テーブルの作成とマスタデータの入力
5	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
6	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
7	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
8	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
9	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
10	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
11	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
12	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
13	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
14	システムの作成実習 ・計画に沿ってのプログラム作成
15	システムの確認と仕上げ ・発表に向けての準備およびプログラムのテスト

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1．課 題　40 ％	システムの作成状況、理解度を評価する グループの作業状況および、グループ内での個人の作業状況を評価する
	2．授業姿勢　30 ％	課題作成への取り組み姿勢、積極性、グループへの協力を評価する 出席状況を加味する
	3．テストその他　30 ％	作成したシステムの内容、創意工夫点を評価する システムの全体、発表内容を評価する
目標検定・課外授業実施予定・その他	1月下旬から2月初旬 卒業成果発表会	

情報システム 学科　　2　　年

科 目 名	ロボット・IoT-PBL II A							学期	後　　期
担当教員	赤江　賢治	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	4
関係実務等	2008年4月～株式会社日本オープンシステムズにてシステムエンジニア								
学習目的	前期の各専攻分野で学習したことを元に、グループで簡単な模擬システムを作成しする。								
授業内容	グループまたは個人で各専攻ごとにシステムの研究・企画・製作した成果を発表する。								
学習目標	目的に応じたロボット・ＩｏＴ機器を構築し、設計に沿ったシステムを作成することができる								
使用テキスト	専攻ごとに指定する								

週数	授業計画
1	システムの作成実習 ・システム作成の計画・設計
2	システムの作成実習 ・システム作成の計画・設計
3	システムの作成実習 ・システム作成の計画・設計
4	設計書を元に、各自作成予定表を作成 必要テーブルの作成とマスタデータの入力
5	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
6	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
7	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
8	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
9	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
10	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
11	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
12	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
13	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
14	システムの作成実習 ・計画に沿ってのシステム作成
15	システムの確認と仕上げ ・発表に向けての準備およびシステムのテスト

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1．課 題　40 ％	システムの作成状況、理解度を評価する グループの作業状況および、グループ内での個人の作業状況を評価する
	2．授業姿勢　30 ％	課題作成への取り組み姿勢、積極性、グループへの協力を評価する 出席状況を加味する
	3．テストその他　30 ％	作成したシステムの内容、創意工夫点を評価する システムの全体、発表内容を評価する
目標検定・課外授業実施予定・その他	1月下旬から2月初旬 卒業成果発表会	

情報システム 学科　　2　年

科 目 名	クラウドPBLⅡA							学期	後　期
担当教員	赤江 賢治	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	4
関係実務等	2008年4月～株式会社日本オープンシステムズにてシステムエンジニア								
学習目的	前期の各専攻分野で学習したことを元に、グループで簡単な模擬システムを作成しする。								
授業内容	グループまたは個人で各専攻ごとにシステムの研究・企画・製作した成果を発表する。								
学習目標	目的に応じたクラウドシステムを構築し、設計に沿ったシステムを作成することができる								
使用テキスト	専攻ごとに指定する								

週数	授業計画
1	計画作成
2	計画作成
3	システム移行調査・技術検証
4	システム移行調査・技術検証
5	システム移行調査・技術検証
6	システム移行調査・技術検証
7	システム構成設計
8	システム構成設計
9	システム構成設計
10	システム構成設計
11	システム構築・移行
12	システム構築・移行
13	システム構築・移行
14	発表に向けての準備
15	発表に向けての準備

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1．課 題　40 ％	システムの作成状況、理解度を評価する グループの作業状況および、グループ内での個人の作業状況を評価する
	2．授業姿勢　30 ％	課題作成への取り組み姿勢、積極性、グループへの協力を評価する 出席状況を加味する
	3．テストその他　30 ％	作成したシステムの内容、創意工夫点を評価する システムの全体、発表内容を評価する
目標検定・課外授業実施予定・その他	1月下旬から2月初旬 卒業成果発表会	

w

情報システム 学科　　2　　年

科 目 名	ゲームプログラミングⅡB							学期	後　　期
担当教員	内山 泰宏	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	2020年からバーチャル展示会コンテンツの開発を行っている。								
学習目的	オリジナルゲームを作成する際に必要となるゲーム設計（企画、仕様、設計）について理解し、作成が出来るようになる。 様々なプログラム例を理解し、必要に応じて自作のゲームに取り入れることが出来るようになる。								
授業内容	様々なジャンルのゲームを実装する際に必要となる実用的な手法を紹介し、オリジナルゲームへ適応する。								
学習目標	様々なプロジェクトを通して、オブジェクト指向プログラミングを身に付ける。								
使用テキスト	UNITYゲーム プログラミング・バイブル および デザイナーズ・バイブル ※生徒は購入不要								

週数	授業計画
1	UnityでUI画面を作ってみよう！
2	グラフィック描画の基礎「レンダーパイプライン」を理解しよう！
3	TextMesh Pro：豊富なテキスト表現で魅力的な画面デザインを実現
4	Timelineによるカットインアニメーションの作成
5	Progressive Lightmapperとライトマップ for モバイル
6	Progressive Lightmapperとライトマップ for モバイル
7	ProBuilderによるモデルとレベルデザインでのMesh制作
8	Post Processing Stack v2によるシーンの絵作り
9	Cinemachineによる臨場感のあるシーン作成
10	BlenderからUnityへのモデルのエクスポート＆インポート
11	2Dゴム紐パチンコゲーム
12	３Dアクション
13	ローカルストレージ(JsonUtility, BinaryFOrmatter, ThreadPool,MD5CryptoServiceProvider,AESManaged)
14	マスターデータクエスト
15	サウンド処理(BGMのフェード,Audio Mixer, ボリュームコンフィグ作成, サウンド処理の最適化)

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	40 %	課題提出
	2．授業姿勢	30 %	出席状況および授業への取り組み姿勢・忘れ物 重要ポイントを各自しっかりチェックされているか 演習問題等への積極的取り組み姿勢
	3．テストその他	30 %	確認テスト・試験・発表
目標検定・課外授業実施予定・その他			

情報システム 学科　　1　　年

科 目 名	データベース演習ＩＡ							学期	前　　期
担当教員	赤江　賢治	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	2008年4月～株式会社日本オープンシステムズにてシステムエンジニア								
授業内容	あらゆる職種の企業の現場で必要とされるデータ管理技能を、データベースの基本とMySQLを用いた演習を通して学ぶ								
学習目的	データベースの基本をMySQLを用いて学習する								
学習目標	データベースが扱える表について理解し、データベースの簡単な操作ができるようになる								
使用テキスト	スッキリわかるSQL入門 第3版 ドリル256問付き!（スッキリわかる入門シリーズ）								

週数	授業計画
1	データベースとMySQL MySQLインストール
2	データベースの基本的な仕組み
3	データベースの作成 ユーザーの作成
4	テーブルの作成
5	テーブルの作成
6	データの検索
7	データの検索
8	主キー・ユニークキー
9	連番・デフォルト値
10	２つのテーブルの関連付け
11	２つのテーブルの関連付け
12	テーブルの作成演習
13	テーブルの作成演習
14	テーブルの作成演習
15	まとめ

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1．課 題	50 ％	授業中出される課題の達成度を評価する
	2．授業姿勢	30 ％	出席と授業態度
	3．テストその他	20 ％	授業中に小テストとまとめのときに行うテストで評価する
目標検定・課外授業実施予定・その他			

情報システム 学科　　1　　年

科 目 名	データベース演習ＩＢ							学期	後　　期
担当教員	赤江　賢治	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	2008年4月～株式会社日本オープンシステムズにてシステムエンジニア								
授業内容	あらゆる職種の企業の現場で必要とされるデータ管理技能を、データベース操作の基本の反復とより高度な操作の演習を通して学ぶ								
学習目的	データベースの基本をMySQLを用いて学習する								
学習目標	データベースの基本操作の確実化し、高度な操作についても一通り経験する								
使用テキスト	スッキリわかるSQL入門 第3版 ドリル256問付き!（スッキリわかる入門シリーズ）								

週数	授業計画
1	履修内容の復習1
2	履修内容の復習1
3	MySQLで格納できるデータの種類2
4	データの検索方法2
5	データの検索方法3
6	データの検索方法4
7	ビュ
8	トリガ
9	ストアドプロシジャ
10	関数
11	表の製作演習の企画作り
12	表の設計 各人で表の使い方を設計する
13	プログラムの設計 各人で設計した表をつかうプログラムの概要を設計する
14	表の作成とプログラムの実行 プログラムの代りに人間が操作してデータベースを操作し, 表の移り変わりを確認する
15	まとめ

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1．課 題	50 ％	授業中出される課題の達成度を評価する
	2．授業姿勢	30 ％	出席と授業態度
	3．テストその他	20 ％	授業中に小テストとまとめのときに行うテストで評価する
目標検定・課外授業実施予定・その他			

情報システム 学科　　2　　年

科 目 名	サーバプログラミングⅡA							学期	前　　期
担当教員	赤江　賢治	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	2008年4月～株式会社日本オープンシステムズにてシステムエンジニア								
授業内容	システム開発現場で必要とされるサーバサイドの知識や技術をオープンソースソフトウェアによるWebシステム構築の演習を通して学ぶ。								
学習目的	オープンソースソフトウェアを利用した、サーバーサイド技術を習得する。								
学習目標	Java、JavaScript、HTML、PHP、MySQLなどのOSSを統合的に利用し、簡単なWebシステムを構築することができる。								
使用テキスト	スラスラわかるPHP 第2版								

週数	授業計画
1	Webアプリケーションとは何か
2	開発環境構築（動作の確認） XAMPP for Windows（Apache＋php＋MySQL）、Eclipse PHP（またはVisual Studio＋php Tools）、
3	開発環境構築（Apacheの設定）
4	簡単なphpプログラムを動かしてみる。
5	php言語の文法（１）JavaやCと共通のものについて確認
6	php言語の文法（２）php特有のものについて確認
7	動的に変化するページ
8	これまでの習熟度チェックと小テスト
9	フォーム処理（１）
10	フォーム処理（２）
11	セッションとクッキー
12	データベースの操作フリーのDBツール類とphpMyAdmin
13	データベースアクセス（１）
14	データベースアクセス（２）
15	これまでの習熟度チェックと課題制作

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	１．課 題	40 ％	授業中に作成するプログラムの課題で評価する
	２．授業姿勢	30 ％	授業を受ける準備、授業を受ける態度及び授業への積極性で評価する
	３．テストその他	30 ％	小テストで評価する
目標検定・課外授業実施予定・その他			

情報システム 学科　　2　　年

科 目 名	サーバプログラミングⅡB							学期	後　　期
担当教員	赤江　賢治	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	2008年4月～株式会社日本オープンシステムズにてシステムエンジニア								
授業内容	システム開発現場で必要とされるサーバサイドの知識や技術をオープンソースソフトウェアによるWebシステム構築の演習を通して学ぶ。								
学習目的	オープンソースソフトウェアを利用した、サーバーサイド技術を習得する。								
学習目標	Java、JavaScript、HTML、PHP、MySQLなどのOSSを統合的に利用し、簡単なWebシステムを構築することができる。								
使用テキスト	スラスラわかるPHP 第2版								

週数	授業計画
1	phpフレームワーク（CakePHP）のインストール
2	phpフレームワークの基本（1）MVCについて
3	phpフレームワークの基本（2）ヘルパー・ライブラリ・フィルターなど
4	実習：メール送信システム（1）
5	実習：メール送信システム（2）
6	phpフレームワークＯＲＭによるデータベース処理（1）
7	phpフレームワークＯＲＭによるデータベース処理（2）
8	実習：掲示板制作（1）
9	実習：掲示板制作（2）
10	これまでの習熟度チェックと課題制作
11	Javascriptとの連携（1）
12	Javascriptとの連携（2）Ajax
13	Javascriptとの連携（3）Ajax
14	実習：ショッピングカートシステム（1）
15	これまでの習熟度チェックと課題制作

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1．課 題	40 %	授業中に作成するプログラムの課題で評価する
	2．授業姿勢	30 %	授業を受ける準備、授業を受ける態度及び授業への積極性で評価する
	3．テストその他	30 %	小テストで評価する
目標検定・課外授業実施予定・その他			

建築・デザイン 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	建築一般構造ＩＡ							学期	前　期
担当教員	佐藤　博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、建築士事務所にて設計業務等に従事している。								
学習目的	二級建築士建築構造（建築一般構造）の範囲を学び、建築一般構造の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築一般構造を学ぶ。特に荷重・外力、構造計画、地盤・基礎、木造等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング※適宜プリント配布								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	2-1　荷重・外力①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
2	2-1　荷重・外力②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
3	2-1　荷重・外力③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
4	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
5	2-2　構造計画①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
6	2-2　構造計画②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
7	2-2　構造計画③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
8	2-2-2　その他の構造計画 2-2-3　代表的な構造種別	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
9	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
10	2-3　地盤・基礎①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
11	2-3　地盤・基礎②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
12	2-4　木造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
13	2-4　木造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
14	2-4　木造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
15	確認テスト	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	１．課　題	20 ％	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	２．授業姿勢	30 ％	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	３．テストその他	50 ％	確認テスト、期末テストより評価
目標検定・課外授業実施予定・その他			

建築・デザイン 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	建築一般構造ＩＢ							学期	後　期
担当教員	佐藤　博	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、建築士事務所にて設計業務等に従事している。								
学習目的	二級建築士建築構造（一般構造）の範囲を学び、一般構造の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の一般構造を学ぶ。特に鉄筋コンクリート造、壁構造、鉄骨造等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング※適宜プリント配布								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	2-5　鉄筋コンクリート造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
2	2-5　鉄筋コンクリート造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
3	2-5　鉄筋コンクリート造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
4	2-5　鉄筋コンクリート造④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
5	2-6　壁構造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
6	2-6　壁構造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
7	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
8	2-7　鉄骨造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
9	2-7　鉄骨造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
10	2-7　鉄骨造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
11	2-7　鉄骨造④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
12	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
13	2-8　その他の構造等①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
14	2-8　その他の構造等②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	１．課　題	20 ％	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	２．授業姿勢	30 ％	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	３．テストその他	50 ％	確認テスト、期末テストより評価
目標検定・課外授業実施予定・その他			

建築・デザイン 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	建築計画ⅡA							学期	前　期
担当教員	小林　弘二	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、自営する会社にて仕事を請け負っている。								
学習目的	一級建築士建築計画の範囲を学ぶ。								
授業内容	一級建築士建築計画の範囲を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC　1級建築士試験 学科Ⅰ新体系テキスト（計画）、TAC 過去問題集（計画）、その他適宜プリント配布								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	1 建築士の職責・業務	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
2	2 建築物の環境共生	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
3	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
4	3 マネジメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
5	4-2 集合住宅	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
6	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
7	5 公共建築	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
8	5-8 公共建築の実例	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
9	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
10	4-3　劇場	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
11	7-2　面積算定・寸法設計の概要	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
12	確認テスト④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
13	10　積算 8　都市計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
14	9　建築史	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
15	確認テスト⑤	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	2．授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	3．テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価
目標検定・課外授業実施予定・その他			

建築・デザイン 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	建築環境工学ⅡA							学期	前　期
担当教員	大楠　安紀	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、建築士事務所にて構造設計業務等に従事している。								
学習目的	一級建築士建築環境設備の範囲を学び、環境設備の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の環境設備を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の環境設備の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC　1級建築士試験 学科Ⅱ新体系テキスト（環境設備）、TAC 過去問題集（環境設備）、その他適宜プリント配布								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	1　室内環境	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
2	1　室内環境	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
3	2　換気	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
4	2　換気	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
5	3　伝熱・結露	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
6	3　伝熱・結露	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
7	4　日照・日射	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
8	4　日照・日射	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
9	5　採光・照明	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
10	5　採光・照明	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
11	6　色彩	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
12	6　色彩	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
13	7　音響	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
14	7　音響	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
15	確認テスト	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること

	評価項目/割合	評　価　内　容
評価基準	1．課　題　20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	2．授業姿勢　30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	3．テストその他　50 %	確認テスト、期末テストより評価
目標検定・課外授業実施予定・その他		

建築・デザイン 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	建築設備ⅡA							学期	前　期
担当教員	大楠　安紀	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、建築士事務所にて構造設計業務等に従事している。								
学習目的	一級建築士建築環境設備の範囲を学び、主に設備の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の環境設備を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の環境設備の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC　1級建築士試験 学科Ⅱ新体系テキスト（環境設備）、TAC 過去問題集（環境設備）、その他適宜プリント配布								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	8　建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
2	8　建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
3	8　建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
4	9　空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
5	9　空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
6	9　空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
7	１０　給排水衛生設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
8	１０　給排水衛生設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
9	１１　照明設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
10	１１　照明設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
11	１２　電気・輸送設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
12	１２　電気・輸送設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
13	１３　消火・防災設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
14	１３　消火・防災設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
15	確認テスト	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	20 ％	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	2．授業姿勢	30 ％	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	3．テストその他	50 ％	確認テスト、期末テストより評価
目標検定・課外授業実施予定・その他			

建築・デザイン 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	建築法規ⅡA							学期	前　期
担当教員	吉野　由美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、建築会社にて設計業務に従事している。								
学習目的	一級建築士建築法規の範囲を学び、法規の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の法規を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の法規の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 学科過去問スーパー７、総合資格学院　1級建築士試験 学科　ポイント整理と確認問題、総合資格学院　1級建築士試験 学科　厳選問題集500+125、建築関係法令集　法令編、その他適宜プリント配布								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	1-1　建築士法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
2	1-2　建設業法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
3	2-1　建築基準法　用語の定義	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
4	2-1　建築基準法　用語の定義	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
6	2-2　確認申請等の手続き規定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
7	2-2　確認申請等の手続き規定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
8	2-3　防火関係規定①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
9	2-3　防火関係規定②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
11	2-4　避難関係規定①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
12	2-4　避難関係規定②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
13	2-5　内装制限等①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
14	2-5　内装制限等②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	１．課　題	20 ％	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	２．授業姿勢	30 ％	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	３．テストその他	50 ％	確認テスト、期末テストより評価
目標検定・課外授業実施予定・その他			

建築・デザイン 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	建築構造力学ⅡA							学期	前　期
担当教員	竹村　哲也	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、建築設計事務所にて設計業務に従事している。								
学習目的	一級建築士建築構造（力学）の範囲を学び、構造力学の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の構造力学を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の構造の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC　1級建築士試験 学科Ⅳ新体系テキスト（構造）、TAC 過去問題集（構造）、その他適宜プリント配布								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	1 - 1　力のつり合い 1 - 2　安定・静定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
2	1 - 3　静定構造物の反力	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
3	2-1　応力 2-2　静定ばりの応力計算	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
4	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
5	2-3　静定ラーメンの応力計算	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
6	2-4　静定３ヒンジラーメンの応力計算	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
7	2-5　静定トラス	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
8	3-1　部材の性質	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
9	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
10	3-2　応力度と許容応力度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
11	3-3　部材の変形（たわみとたわみ角）	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
12	3-4　座屈 確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
13	4-1　不静定構造物の応力と変形	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
14	4-2　耐震の基本理念	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
15	確認テスト④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	１．課　題	20 ％	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	２．授業姿勢	30 ％	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	３．テストその他	50 ％	確認テスト、期末テストより評価
目標検定・課外授業実施予定・その他			

建築・デザイン 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	建築施工ⅡA							学期	前　期
担当教員	星屋　吉宏	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、建築士事務所にて設計業務等に従事している。								
学習目的	一級建築士建築施工の範囲を学び、構造力学の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の施工を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の施工の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 学科過去問スーパー７、総合資格学院　1級建築士試験 学科　ポイント整理と確認問題、総合資格学院　1級建築士試験 学科　厳選問題集500+125、その他適宜プリント配布								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	工事全体の流れ	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
2	施工計画・工程管理	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
3	材料管理、申請・届出	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
4	測量・地盤調査	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
5	仮設工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
6	土工事・山留め工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
7	基礎工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
8	鉄筋工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
9	型枠工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
10	コンクリート工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
11	鉄骨工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
12	防水工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
13	木工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
14	改修工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること
15	請負契約	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと
		【事後】	課題は次の授業まで終わせること

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	20 ％	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	2．授業姿勢	30 ％	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	3．テストその他	50 ％	確認テスト、期末テストより評価
目標検定・課外授業実施予定・その他			

建築・デザイン 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	建築設計製図ⅡＡ							学期	前　期
担当教員	伏間　崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	１級建築士の資格を有し、建築士事務所にて設計業務等に従事している。								
学習目的	一級建築士設計製図に対応できる力を身に着ける。								
授業内容	一級建築士設計製図の範囲を実践する。								
学習目標	一級建築士設計製図試験の傾向と対策を学ぶ。 課題の読み取り、エスキス、作図、要点記述を時間管理できるようになる。								
使用テキスト	適宜プリント配布								

週数	授業計画
1	１級建築士設計製図試験概要・時間管理等・作図練習
2	読み取り 作図トレーニング
3	エスキス① 作図トレーニング
4	エスキス② 作図トレーニング
5	エスキス③ 作図トレーニング
6	エスキス④ 作図トレーニング
7	要点記述① 作図トレーニング
8	要点記述② 作図トレーニング
9	要点記述③ 作図トレーニング
10	課題１　読み取り・エスキスプロセス
11	課題１　作図・要点記述
12	課題2　読み取り・エスキスプロセス
13	課題2　作図・要点記述
14	課題3　読み取り・エスキスプロセス
15	課題3　作図・要点記述

	評価項目/割合	評　価　内　容
評価基準	１．課　題　70 ％	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況
	２．授業姿勢　30 ％	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　④忘れ物をしていない、以上の観点から評価
	３．テストその他　0 ％	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

Webクリエイター 学科　　1　年

科 目 名	カラーコーディネートＩＡ							学期	前　期
担当教員	畠山　博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	広告代理店を経てデザイン事務所開設。グラフィックデザイナーとして活動								
授業内容	色彩科学、色彩調和などを学習しながら、色を見る力を養う								
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
学習目標	様々なビジネスシーンで必要となる色彩の考え方を理解し、活用できるようになる。								
使用テキスト	色彩検定3級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								

週数	授業計画
1	自己紹介、カラーカードを貼る
2	カラーカードを貼る
3	実習・ポスターカラーを使う
4	実習・ポスターカラーを使う
5	光と色
6	光と色
7	眼のしくみ
8	眼のしくみ
9	混色
10	混色
11	色の三属性
12	色の三属性
13	PCCSの理解と色彩調和
14	PCCSの理解と色彩調和
15	パーソナルカラーの基礎

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　50 %	レポート、小テスト結果等を評価する
	2. 授業姿勢　30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する
	3. テストその　20 %	期末テスト結果を評価する
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	AFT色彩検定3級 進行状況により変更する場合があります。	

Webクリエイター 学科　　1　　年

科 目 名	カラーコーディネートＩＢ							学期	後　　期
担当教員	畠山　博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	広告代理店を経てデザイン事務所開設。グラフィックデザイナーとして活動								
授業内容	デザインをする上で目的にあった効果のあるカラーコーディネートとはどういうものかを学ぶ								
学習目的	色彩検定3級合格を目指して、色彩の基本を学習する。								
学習目標	色彩検色彩とは何か、応用的な理解ができ、実戦に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定3級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								

週数	授業計画
1	前期の復習
2	色彩心理
3	色彩心理
4	配色イメージ
5	ファッションと色彩
6	ファッションと色彩
7	インテリアと色彩
8	インテリアと色彩
9	慣用色名
10	検定に向けての学習
11	検定に向けての学習
12	検定に向けての学習
13	検定に向けての学習
14	ビジュアルデザインの基礎
15	ビジュアルデザインの基礎

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1．課　題　　50 %	レポート、小テスト結果等を評価する
	2．授業姿勢　30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する
	3．テストその　20 %	模擬テスト結果等を評価する
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	AFT色彩検定3級 進行状況により変更する場合があります。	

Webクリエイター 学科　　2　　年

科 目 名	グラフィックデザインⅡA							学期	前　　期
担当教員	遠藤　一男	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	商業デザイン業務を取り扱うIOSの経営及びデザイナーとしての実務基礎的知識と作成過程を担当。								
授業内容	仮想企業を想定し、マークやロゴタイプをデザインし、アプリケーションとして名刺・新聞広告やポスター展開する等、実践的な演習								
学習目的と目標	グラフィックデザイン手法や表現方法をシステムとして学び、作成過程を理解してもらう。								
使用テキスト	JAGDA　教科書　VISUAL DESAIGN Voiume2　タイポグラフィ・シンボルマーク								

週数	授業計画
1	1.遠藤　一男　名刺交換及び自己紹介　　❶教材及び教科書シラバスを通し基本的な授業の進め方の説明 2.❷タイポグラフィック文字の成り立ち、書体のエレメントの実演 ●目的→文字の成り立ちを学ぶ
2	1.今週の広告収集の発表オリエ。　❶数字・欧文・漢字・仮名の実演 2.❷生徒自身の名前をタイポグラフィック（明朝とゴシック）、文字組版のルールの実演 ●目的→文字のバリエーションを学ぶ
3	1.今週の広告収集の発表オリエ。❶ネーミングやロゴタイプの事例を通して企業イメージや広告展開、ブランド展開の大きな力となるロゴタイプの役割を確認　　2.❷ブランドデザインの事例を通してロゴタイプ（CI・VI）マークロゴの周辺を学ぶ、 ●目的→仮想企業のロゴタイプやシンボルマークの役割を学ぶ
4	1.街中ロゴタイプの収集の発表オリエ。❶起業する企業のネーミングの方法や企業のコンセプトを確認（設定企業オリエ） 2.❷ロゴタイプイデザン（CI・VI）マークロゴの製作体験（アイデア出し手法） ●目的→仮想企業のロゴタイプやシンボルマークのアイデア出しの方法等を学ぶ
5	1.設定企業アイデア出しオリエ。❶ロゴタイプデザイン（CI・VI）をイラストレータ製作 2.❷ロゴタイプイデザン（CI・VI）マークロゴの製作体験（製作手法） ●目的→仮想企業のロゴタイプやシンボルマークの開発手法と方法等を学ぶ
6	1.設定企業イラストレータで製作したロゴタイプオリエ。❶製作したマークロゴを使った名刺やデザインマニュアルを製作。 2.❷基本デザインをデザインツリーのベーシックデザインシステムに落とし込みゲラ提出及びの製作。 ●目的→仮想企業のブランド設計デザインの基本ベースとなるシンボルマークとロゴタイプのルール創りを学ぶ
7	1.キャラクターの製作過程を事例を通して学ぶ。❶収集収集した資料を作成。 2.❷それぞれの収集収集した資料を参考に.対象をとらえるための簡単なデッサンとクロッキ製作を行い対象をとらえる力を培う ●目的→キャラクターの製作過程を学ぶ　　（宿題・イラストレータで書き起こす）
8	1.キャラクターデザインのオリエ。　❶新聞広告の周辺を学ぶと共に会社・店舗の、新聞広告製作のための素材の収集と構成デザイン 2.❷ビジュアル表現として似顔絵（ホトショップツール使用）製作や素材としての地図（マップ）細作 ●目的→新聞広告やコマーシャの構成要素及び社会的な役割と問題点を学ぶ
9	1.今週の広告収集の発表オリエ。❶自社アピールの新聞広告全１５段製作ビシュアルデサイン手法　新聞全15段の製作体験 2.❷素材と構成デザイン（ビジュアル＋自画像＋製作ロゴ＋コピーワーク＋タイポグラフィー＝広告製作）、会社・店舗をアピールする新聞広告製作 ●目的→新聞広告の実製作行程を学ぶ
10	1.今週の広告収集の発表オリエ。❶ビシュアルデサイン手法　新聞全15段の製作体験 2.❷プレゼンテーション（プロジェクターを使い発表→オリエンテーション→発表→添削→意見交換、完成度を高める製作←パネルUP ●目的→新聞広告の製作の完成度を高める方法を学ぶ
11	1.富山県美術館見学の注意事項と目的を打ち合わせ 2.❶ポスター制作のヒントとモチベーションを高める見学としたい、 ●目的→ポスターの可能性と製作上の参考として製作上のヒントを
12	1.今週の広告収集の発表オリエ。❶ポスター制作（素材収集及び準備） 2.❷写真やイラスト、ロゴや新聞広告等の製作してきたコンテンツを駆使しレイアウトや表現の可能性とポスターの方向性を決定オリジナルな基本設計デザイン　　●目的→ポスターの構成要素を学ぶ
13	1.今週の広告収集の発表オリエ。　❶ポスター制作（グランドデザイン） 2.❷サムネールの製作提出　❸ドキュメントサイズ上に素材製作コンテンツを配置（写真・イラスト・コピー等）、仮想企業ポスターの製作デザイン ●目的→ポスターの製作行程を学ぶ
14	1.今週の広告収集の発表オリエンテーション。❶タイポグラフィックを加味しデザインを検証 2.❷ビジュアル表現を検証プレゼンテーション（プロジェクターを使い発表）→添削→アドバイス→再構成・修正。さらに完成度を高める製作デザイン ●目的→ポスターの完成度を高める方法を学ぶ
15	1.今週の広告収集の発表オリエ。（ファイル帳の提出❶完成度を高める検証 2.❷製作物の仮ゲラ提出→再度の完成度や細かいチェック→作品のプロッター出力→パネルアップ→出品表記入→出品 ●目的→ポスターの作品としての完成と青少年美術展への出品。

	評価項目/割合	評　価　内　容
評価基準	１．課　題　　50 %	中間課題等を評価する
	２．授業姿勢　　30 %	授業規律、受講態度、積極性、発表オリエンテーションの話し方、質問応答等を評価する
	３．テストそ(　20 %	最終制作課題を評価する
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	9月上旬「青少年美術展」への出品 授業での理解度・進度にょり授業内要を一部変更することがあります	

Webクリエイター 学科　　2　　年

科 目 名	グラフィックデザインⅡB							学期	後　　期
担当教員	遠藤　一男	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	商業デザイン業務を取り扱うIOSの経営及びデザイナーとしての実務基礎的知識と作成過程を担当。								
授業内容	実際の顧客及び仮想企業を設定して広告等に効果的な制作物を作成する。								
学習目的と目標	◉企業のブランド戦略として、印刷物やHPデザイン・サインやリーフレット等の製作を通してデザイン手法を学ぶ。◉ＤＴＰの実践力を								
使用テキスト	JAGDA　教科書　VISUAL DESAIGN Voiume2　タイポグラフィ・シンボルマーク								

週数	授業計画
1	1.後期授業の進め方。青少年美術展出品作の発表オリエ。 環境グラフィック・サインとは 。サイン計画とその周辺　検索サイトSDA←検索（社）日本サインデザイン協会 2.現地取材の下調べを（A3サイズでゲラ提出） ●目的→サイン計画と環境グラフィックを学ぶ
2	1.課外授業　環境グラフィック現地取材（下調べをした現地へ全員で取材に行きます） 2.取材対象のリポート製作を前提にした取材報告書製作（ビデオや写真撮影等） ●目的→サイン計画の現状と展開を学ぶ
3	1.取材対象のリポート製作。現地検証を通じて感じた問題点や良かった点を整理、リポート（A3サイズでゲラ提出） 2.仮想企業のサイン計画を試みる。 ●目的→サイン計画を現地調査を通して仮想企業のサイン計画に生かす手法を学ぶ
4	1.仮想企業のサイン計画を試みる。 2.デザインツリーに落とし込む ●目的→仮想企業のサイン計画を通してブランドイメージを膨らませる。
5	1.ブランド形成のためのアプリケーションデザインの方向性を探る。制作スケジュールと方向性確認。 2.卒業制作発表会に向けてのアプリケーション展開計画の考察　3.様々な企業のブランド戦略をネット上で収集し仮想企業のブランド戦略を探る。 ●目的→デザインツリーを通して仮想企業のブランド構築のために展開例を学ぶ
6	1.会社案内のサイズ及び形体の選定。制作上の注意事項や会社案内の大まかな素材要素の確認とスケジュールと方向性確認 2.素材収集と構成要素の収集と大まかなデザイン（会社案内リープレット等のアプリケーションデザイン ●目的→会社案内リーフレット製作手法を学ぶ
7	1.会社案内リーフ実製作. 2.実物製作した会社案内アA3サイズで（ゲラ提出）→添削→完成度を高める製作。（A3サイズでゲラ提出） ●目的→仮想企業のブランド構築のため実製作を学ぶ
8	1.製作した会社案内アイテムをPDF提出オリエンテーション（PDF提出） 2.実物製作した会社案内をA3サイズで（ゲラ提出）→添削→完成度を高める製作。（A3サイズでゲラ提出） ●目的→仮想企業のブランド構築のため実製作を学ぶ
9	1.ステーショナリー及びショッピングバッグなど製作個々のアイテムに沿った実製作 2.添削→完成度を高める製作確認後（原寸サイズで大型プロッター出力）ショップバッグ原物製作 ●目的→仮想企業のブランド構築のため実製作を学ぶ
10	1.その他、営業車両・ワーキングウェア・アイテムなど製作個々のアイテムに沿った実製作（A3サイズでゲラ提出） 2.添削→完成度を高める製作確認後（原寸サイズで大型プロッター出力）原物製作 ●目的→仮想企業のブランド構築のため実製作を学ぶ
11	1.デザインツリーに制作したコンテンツを落とし込みまとめA1サイズのパネル製作 →A3ゲラ提出→添削→完成度を高める製作→ 2大型プロッター出力パネル出力及びパネルにアップ ●目的→仮想企業のブランド構築をシステムとして学ぶ
12	1..①ロゴ開発から始まるベーシックデザインシステム」②ブランド展開形成のための「アプリケーションデザインシステム」③前期後期を通してのブランド戦略　　2.卒業製作発表会のプレゼンテーションの口上の方向を探る ●目的→プレゼンテーションの方法を具体的に学ぶ
13	1.2.製作した現物全てのアイテムの発表会会場後方ディスプレーを仮展示。 ●目的→仮想企業のプレゼンテーションをシステムとして学ぶ
14	1.卒業製作発表会のプレゼンテーション用スライドショーのデータ製作 ①ロゴ開発から始まるベーシックデザインシステム」②ブランド展開形成のための「アプリケーションデザインシステム」③前期後期を通してのブランド戦略　　●目的→プレゼンテーションの方法を具体的に学ぶ
15	1.卒業制作発表会の会場設営→プレゼンテーションの流れ→スライド→口上を最終確認

	評価項目/割合	評　価　内　容
評価基準	１．課　題　　50 %	中間課題等を評価する
	２．授業姿勢　　30 %	授業規律、受講態度、積極性、発表オリエンテーションの話し方、質問応答等を評価する
	３．テストそ(　20 %	最終制作課題を評価する
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	2月初旬「卒業製作発表会」への出品およびプレゼンテーション　課外授業現地調査及び報告書 授業での理解度・進度にょり授業内要を一部変更することがあります	

Webクリエイター 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	総合演習ⅡA							学期	前　期
担当教員	宝里均	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	有限会社サイバースクエア代表取締役。Web・グラフィックデザイン分野に多くの制作実績を持つ								
学習目的	卒業制作に必要な準備とスキルを身につけ、内容の濃い作品を制作する								
授業内容	卒業制作に関わる技術指導とアドバイス								
学習目標	Bitで学んだスキルの集大成								
使用テキスト	なし								

週数	授業計画
1	卒業制作に向けて何を行うべきか1　仮想企業の設定と過去の事例に学ぶ
2	卒業制作に向けて何を行うべきか2　デザインの必要性と意味　身のまわりのものでデザインを説明
3	仮想企業の設定1　社名、ロゴ、企業規模、特徴、強みと問題点、主要サービスとメイン商品
4	仮想企業の設定2　社名、ロゴ、企業規模、特徴、強みと問題点、主要サービスとメイン商品（課題）
5	グラフィックデザインの考え方と手法1　　広告の考え方と役割　ワードでチラシ作成（課題）
6	グラフィックデザインの考え方と手法2　　ワードでチラシを作る2（課題）　ステーショナリー作成・ノベルティグッズ作成
7	グラフィックデザインの考え方と手法3　　ステーショナリー作成・ノベルティグッズ作成（課題）
8	ウェブデザインとその役割：企業のサイトを見て学ぶ1：企業サイト（WordPress）とECサイトの種類　実際にフローチャートを作る
9	ウェブデザインとその役割：企業のサイトを見て学ぶ2：実際にフローチャートを作る（課題）
10	SNSの種類とその役割　実際にアカウントを作る　他の授業（グラフィックなど）で制作した作品の確認と対策1
11	他の授業（グラフィックなど）で制作した作品の確認と対策　　卒業制について1　具体的に制作するものを設定　アイディアを出す
12	卒業制作について2　具体的なアイディアを策定　企画書を作る（課題）
13	卒業制作　ウェブデザイン　XDでデザイン制作1　XDの基本的使い方
14	卒業制作　ウェブデザイン　XDでデザイン制作2　XDの基本的使い方
15	卒業制作　ウェブデザイン　XDでデザイン制作3　XDでデザインを制作（課題）

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	50 %	課題提出 授業内の課題の取り組み
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか　②受講マナーが良好か　③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　⑤忘れ物をしない　　以上の観点から評価。
	3. テストその他	20 %	制作内容・発表内容　総括
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。		

Webクリエイター 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	総合演習ⅡB							学期	後　期
担当教員	宝里均	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	有限会社サイバースクエア代表取締役。Web・グラフィックデザイン分野に多くの制作実績を持つ								
学習目的	卒業制作に必要な準備とスキルを身につけ、内容の濃い作品を制作する								
授業内容	卒業制作に関わる技術指導とアドバイス								
学習目標	Bitで学んだスキルの集大成								
使用テキスト	なし								

週数	授業計画
1	卒業制作　ウェブデザイン　XDでデザイン制作3　スマホ仕様の考え方とデザイン
2	卒業制作　ウェブデザイン　XDでデザイン制作4　前期に作ったフローチャート案を元にデザイン作成
3	卒業制作　ウェブデザイン　XDでデザイン制作5　前期に作ったフローチャート案を元にデザイン作成（課題）
4	卒業制作　ウェブデザイン　XDでデザイン制作4　前期に作ったフローチャート案を元にデザイン作成（課題）
5	XDからWordPressへの組み込み（WordPressの習得度を考えて）
6	XDからWordPressへの組み込み（WordPressの習得度を考えて）
7	パワーポイントで制作する内容について考える1　絵コンテの作成（課題）　他の授業の制作物についての確認と指導（パワーポイントに入れるコンテンツの確認）
8	パワーポイントで制作する内容について考える2　絵コンテの作成（課題）
9	これまでの制作物についての確認と指導（全体確認：パワーポイントに入れるコンテンツの確認）
10	これまでの制作物についての確認と指導（全体確認：パワーポイントに入れるコンテンツの確認）
11	パワーポイント最終確認
12	卒業制作　個別指導
13	卒業制作　個別指導
14	卒業制作　個別指導
15	卒業制作　個別指導

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	課題提出 授業内の課題の取り組み
	2. 授業姿勢　30 %	①欠席・遅刻がないか　②受講マナーが良好か　③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか　⑤忘れ物をしない　以上の観点から評価。
	3. テストその他　30 %	制作内容・発表内容　総括
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。	

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	サービス接遇ＩＢ							学期	後　　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレブラン高志会館　業務課（テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ）・営業課（ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営）にて勤務								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド2級 サービス接遇検定実問題集1-2級								

週数	授業計画
1	２級学習 専門知識 ①（サービ知識ほか）
2	２級学習 専門知識 ②（従業知識ほか）
3	２級学習 一般知識（社会常識ほか）
4	２級学習 対人技能 ①（人間関係ほか）
5	２級学習 対人技能 ②（接遇知識ほか）
6	２級学習 対人技能 ③（話し方ほか）
7	２級学習 対人技能 ④（服装ほか）
8	２級学習 実務技能 ①（問題処理ほか）
9	２級学習 実務技能 ②（環境整備ほか）
10	２級学習 実務技能 ③（金品管理ほか）
11	２級学習 実務技能 ④（金品搬送ほか）
12	２級学習 実務技能 ⑤（社交業務ほか）
13	準１級 基本言動 ①（入室ほか）
14	準１級 基本言動 ②　（企業連携）
15	準１級 基本言動 ③（企業連携）

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	30 %	実習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他			

ホテル・ブライダル 学科　　2　　年

科 目 名	サービス接遇ⅡA							学期	前　　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレブラン高志会館　業務課（テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ）・営業課（ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営）にて勤務								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド準1級級 サービス接遇検定受験ガイド1級 サービス接遇検定実問題集1-2級								

週数	授業計画
1	準1級 接客応答
2	準1級 接客応答
3	準1級 接客応答
4	準1級 接客対応
5	準1級 接客対応
6	準１級検定対策総仕上げ
7	１級 サービススタッフの資質
8	１級 専門知識（サービス知識）
9	１級 専門知識（従業知識）
10	１級 一般知識（社会常識）
11	１級 対人技能（人間関係ほか）
12	１級 対人技能（接遇知識ほか）
13	１級 実務技能 ①（問題処理ほか）
14	１級 実務技能 ④（金品搬送ほか）
15	１級検定対策講義

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	実習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストその他　40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	ホテルブライダルマーケティングＩＢ							学期	後　　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレブラン高志会館　業務課（テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ）・営業課（ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営）にて勤務								
授業内容	ワークを通して観光業のマーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	マーケティングとは活動の種類や効果について
2	観光業におけるマーケティングとは何か
3	観光業におけるＳＷＯＴ分析
4	観光業におけるＳＷＯＴ分析
5	観光業におけるＳＷＯＴ分析
6	観光業におけるＳＴＰマーケティング
7	観光業における４Ｐ（観光地や観光コース、イベント）
8	観光業における４Ｃ（観光地や観光コース、イベント）
9	観光業をマーケティングの理論に基づき分析
10	外国人観光客について主要国の国の特徴や観光動向について（食文化、生活習慣、言語、国民性、経済、宗教）
11	外国人観光客について主要国の国の特徴や観光動向について（食文化、生活習慣、言語、国民性、経済、宗教）
12	富山県を訪れる外国人に好まれる観光プラン作成
13	イノベーションとは
14	インバウンド対策を考えた観光プランの作成とコース分析
15	観光プランのプレゼンテーション

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿勢　30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。
	3. テストその他　40 %	発表内容、総括記録、各自実施レポート
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2　　年

科 目 名	ホテルブライダルマーケティングⅡA							学期	前　　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレブラン高志会館　業務課（テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ）・営業課（ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営）にて勤務								
授業内容	ワークを通して観光業のマーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	富山県の観光地の再体験
2	富山県の観光地の再体験
3	富山県とバンクーバーの違いについて （客層・STP・4P・4C）
4	富山県とバンクーバーの違いについて （商品アイデア・方法）
5	富山県とバンクーバーの違いについて （食・生活週間・言語・国民性・経済・宗教）
6	富山県とバンクーバーの違いについて （歴史・特産品・伝統・行事・宿泊施設・SNS活用）
7	富山県とバンクーバーの違いについて ビジネスモデル（商流・キーマン）
8	富山県の観光に関する課題と分析
9	1年前期に作成した観光プランの再構築
10	SWOT分析チェック
11	商品・サービス差別化
12	観光プランを英語でプレゼンテーション
13	観光プランを英語でプレゼンテーション
14	プレゼンテーション発表
15	プレゼンテーション振返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿勢　30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。
	3. テストその他　40 %	発表内容、総括記録、各自実施レポート
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　1　年

科 目 名	ホテル概論ＩＡ							学期	前　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレブラン高志会館　業務課（テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ）・営業課（ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営）にて勤務								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門（すなわち営業部門）を具体的に理解する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第1章 ホテルの基礎 ホテルとは	【事前】	ホテル産業について予習
		【事後】	ホテル調査
2	第1章 ホテルの基礎 欧米の歴史	【事前】	欧米のホテルの歴史について
		【事後】	ホテル調査のレポート提出
3	第1章 ホテルの基礎 日本の発展史	【事前】	日本のホテル発展史
		【事後】	課題提出
4	第1章 ホテルの基礎　　部門別機能 ホテルの組織、サービスの基本	【事前】	サービスの基本
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
5	第1章 ホテルの基礎　　部門別機能 ホテルの組織、関連法規	【事前】	ホテルの組織について
		【事後】	ホテル調査
6	第1章 ホテルの基礎　将来展望　今後の課題 トレンド調査	【事前】	トレンド調査
		【事後】	課題提出
7	第1章 ホテルの基礎 国際儀礼の基本	【事前】	プロトコール
		【事後】	課題提出
8	第1章 ホテルの基礎 ホスピタリティマインド	【事前】	ホテル調査
		【事後】	レポート提出
9	第1章 ホテルの基礎 ホテル関連知識	【事前】	第１章ホテルの基礎　まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
10	第2章 宿泊部門の業務 宿泊部門の概要	【事前】	宿泊部門の概要
		【事後】	課題提出
11	第2章 宿泊部門の業務 宿泊商品の特性	【事前】	宿泊部門の特性
		【事後】	課題提出
12	第2章 宿泊部門の業務 組織と業務役割	【事前】	ホテル調査
		【事後】	レポート提出
13	第2章 宿泊部門の業務 宿泊商品の基本知識	【事前】	宿泊商品
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
14	第2章 宿泊部門の業務 担当者業務	【事前】	第2章宿泊部門　まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
15	第2章 宿泊部門の業務 まとめ	【事前】	第1章・2書のまとめ
		【事後】	前期期末試験

評価基準	評価項目/割合	評 価 内 容
	1. 課　題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢　30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視ー私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりした緊張のない姿勢は失格)などを重視
	3. テストその他　40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえてホテルコースは2年次11月後半に実施予定の「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。 企業連携を通して、企画提案や商品開発などの実践を行う。

ホテル・ブライダル 学科　　1　年

科 目 名	ホテル概論ＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレブラン高志会館　業務課（テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ）・営業課（ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営）にて勤務								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、学期後半に「ホテルビジネス実務検定ベーシック2級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の特性	【事前】	料飲部門の特性
		【事後】	課題提出
2	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の組織	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
3	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の業務役割	【事前】	料飲部門の基本知識
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
4	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の基本知識	【事前】	料飲部門の業務
		【事後】	課題提出
5	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の担当業務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	ホテル・旅館調査
6	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	小テスト
7	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	レポート提出
8	第3章 料飲部門の業務 第3章のまとめ	【事前】	料飲部門のまとめ
		【事後】	第3章テスト
9	第4章 宴会部門の業務 宴会商品の特性	【事前】	宴会部門の特性
		【事後】	課題提出
10	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の組織	【事前】	宴会部門の組織と業務役割
		【事後】	小テスト
11	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の業務	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	課題提出
12	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割
		【事後】	小テスト
13	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の実務
		【事後】	課題提出
14	第4章 宴会部門の業務　まとめ・宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の担当者実務
		【事後】	小テスト
15	第4章　宴会部門の業務　まとめ	【事前】	第3章・4章まとめ
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢　30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりしたした緊張のない姿勢は失格）などを重視
	3. テストその他　40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえて11月後半に実施予定の「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。

ホテル・ブライダル 学科　　2　年

科 目 名	ホテル概論ⅡA							学期	前　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成9年～26年公立学校共済組合パレブラン高志会館　業務課（テーブルマナー講師・宴会レストランサービス・婚礼チーフ）・営業課（ブライダルプランナー・フロント業務・宿泊販売・営業・企画運営）にて勤務								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、学期後半に「ホテルビジネス実務検定ベーシック2級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第5章 調理部門の業務　調理部門の特性 制約要件からくる特性	【事前】	調理部門の特性
		【事後】	課題提出
2	第5章 調理部門の業務　調理部門の特性 メニュー開発・経費から見たの特性	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
3	第5章 調理部門の業務　調理部門の組織と業務役割 調理部門の組織	【事前】	調理部門の組織
		【事後】	小テスト
4	第5章 調理部門の業務　調理部門の組織と業務役割 料理部門の業務	【事前】	メイン・宴会・レストラン・製菓の各業務
		【事後】	課題提出
5	第5章 調理部門の業務　調理部門の実務 調理の種類・施設・設備・備品の知識	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
6	第5章 調理部門の業務　調理部門の実務 西洋料理の基礎知識	【事前】	西洋料理の基礎知識
		【事後】	小テスト
7	第5章 調理部門の業務　担当業務 西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	課題提出
8	第5章 調理部門の業務　担当業務 西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	小テスト
9	第5章 調理部門の業務　担当業務 西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	第5章　調理部門のまとめ
10	第5章　調理部門のまとめ	【事前】	第5章の復習
		【事後】	小テスト
11	第1章・2章の復習	【事前】	練習問題700選
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
12	第3章・4章の復習	【事前】	練習問題700選
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
13	検定試験対策 1章・2章	【事前】	練習問題700選
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
14	検定試験対策　3章・4章	【事前】	練習問題700選
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
15	検定試験対策　5章	【事前】	復習問題
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢　30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりしたした緊張のない姿勢は失格）などを重視
	3. テストその他　40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえて11月後半に実施予定の「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。

医療事務 学科　　1　　年

科 目 名	医療保険制度ＩＡ							学期	前　　期
担当教員	中村　洋子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	平成12年～平成22年　クリニック、総合病院にてレセプト作成業務を担当								
学習目的	病院の概要や医療保険制度の仕組み、規則、各種制度など、医療機関での仕事に携わるために必要な専門知識を学ぶ								
授業内容	医療現場での請求事務の流れは意義などについて学ぶ								
学習目標	医療保険制度や請求事務などについて理解する								
使用テキスト	医科テキスト１、２、３　医科サポートブック　医科トレーニングブック　医科問題集　電卓								

週数	授業計画
1	病院の概要
2	病院の組織とスタッフ
3	医事部門のあらまし
4	医療保険の種類
5	保険給付の種類
6	保険外併用療養費
7	長寿医療制度
8	給付の種類
9	高額療養費とは
10	受付、カルテ管理
11	料金計算
12	個別出来高払い方式
13	請求事務
14	レセプト作成のルール
15	医事担当者の心構え 守秘義務

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	１．課　題	40 ％	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況
	２．授業姿勢	30 ％	①規律ある立礼、学習態度（私語、居眠り禁止） ②積極的な学習参加（発言や質問）状況 ③授業準備状況（授業開始時にテキスト、電卓等が机上に整っているか）
	３．テストその他	30 ％	①小テスト ②修了試験

目標検定・課外授業実施予定・その他	医療事務管理士技能認定試験テキストの改定や学生の理解度状況により授業進度、内容を変更する場合があります

医療事務 学科　　1　　年

科 目 名	診療報酬請求（医科）基礎ＩＡ							学期	前　　期
担当教員	中村　洋子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	5
関係実務等	平成12年～平成22年　クリニック、総合病院にてレセプト作成業務を担当								
学習目的	現場での実践を想定して診療報酬の算定とレセプト作成方法を学ぶ								
授業内容	診療報酬点数の仕組みと算定方法について学習する								
学習目標	点数算定技能を身に付け、カルテの内容や診療報酬の仕組みを理解する								
使用テキスト	医科テキスト１、２、３　医科サポートブック　医科トレーニングブック　医科問題集　電卓								

週数	授業計画
1	点数算定の原則
2	診察料
3	医学管理等
4	在宅医療
5	投薬
6	注射
7	処置
8	リハビリテーション
9	検査
10	病理診断
11	手術
12	麻酔
13	画像診断
14	入院料
15	入院料

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	１．課　題	40 ％	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況
	２．授業姿勢	30 ％	①規律ある立礼、学習態度（私語、居眠り禁止） ②積極的な学習参加（発言や質問）状況 ③授業準備状況（授業開始時にテキスト、電卓等が机上に整っているか）
	３．テストその他	30 ％	①小テスト ②修了試験
目標検定・課外授業実施予定・その他	医療事務管理士技能認定試験テキストの改定や学生の理解度状況により授業進度、内容を変更する場合があります		

診療情報管理士研究 学科　　1　　年

科 目 名	分類法ⅢA							学期	前　　期
担当教員	奥村　通子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	平成20年～平成27年　富山大学医学部附属病院勤務　診療情報管理士室所属								
授業内容	ICD-10の仕組みを理化し、使用に際しての各章の特徴や留意事項を理解し、各章ごとの基本コーディングを習得する。								
学習目的	現場での実践を想定したICD-10コーディング技術、それに関連する腫瘍の分類コードを学ぶ。								
学習目標	各章の構成、各疾患の特徴を習得し国際疾病分類の仕組みを理解し、「内容例示表」「索引表」のルールを理解し、適切な疾病分類が出来る。								
使用テキスト	診療情報管理Ⅳ（専門・分類法編）、診療情報管理士教育問題集（専門・分類法編）、ICD-10								

週数	授業計画
1	コーディングの目的・注意事項・ルール及びシステム整備の条件・ICDを用いる注意事項
2	複数病態分類・複合病態分類・二十分類、用語の定義・索引表の構造・傷病名の構成
3	コーディング全般にわたるガイドライン コーディング演習１（第1章：感染症・寄生虫症）
4	コーデイング演習２（第Ⅲ章：血液・造血器・免疫機構の障害、第Ⅳ章：内分泌・栄養・代謝）
5	コーディング演習３（第Ⅴ章：精神・行動の障害、第Ⅵ：神経系の疾患、第Ⅶ章：眼・附属器の疾患）
6	コーディング演習４（第Ⅴ章：精神・行動の障害、第Ⅵ：神経系の疾患、第Ⅶ章：眼・附属器の疾患）
7	コーディング演習５（第Ⅷ章：耳・乳突起の疾患、第Ⅸ:循環器系の疾患、第Ⅹ章：呼吸器系の疾患）
8	コーディング演習６（第Ⅷ章：耳・乳突起の疾患、第Ⅸ:循環器系の疾患、第Ⅹ章：呼吸器系の疾患）
9	コーディング演習７（第ⅩⅠ章：消化器系の疾患、第ⅩⅡ章：皮膚・皮下組織の疾患、第ⅩⅢ章：呼吸器系の疾患）
10	コーディング演習８（第ⅩⅠ章：消化器系の疾患、第ⅩⅡ章：皮膚・皮下組織の疾患、第ⅩⅢ章：呼吸器系の疾患）
11	コーディング演習９（第ⅩⅠ章：消化器系の疾患、第ⅩⅡ章：皮膚・皮下組織の疾患、第ⅩⅢ章：呼吸器系の疾患）
12	コーディング演習１０（第ⅩⅣ章：腎尿路生殖器系の疾患、第ⅩⅦ章：先天奇形・変形・染色体異常）
13	コーディング演習１１（第ⅩⅣ章：腎尿路生殖器系の疾患、第ⅩⅦ章：先天奇形・変形・染色体異常、第ⅩⅧ：症状・徴候・異常所見・異常検査所見で他に分類されないもの）
14	コーディング演習１２（第Ⅱ章：新生物）
15	コーディング演習１３（第Ⅱ章：新生物）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1．課　題　30 %	課題の提出　期限　完成度を考慮する　小テストの評価
	2．授業姿勢　30 %	積極的に授業に参加する姿勢
	3．テストその他　40 %	修了試験
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	診療情報管理士認定試験（2月）	

診療情報管理士研究 学科　　1　　年

科 目 名	分類法ⅢB							学期	後　　期
担当教員	奥村　通子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	平成20年～平成27年　富山大学医学部附属病院勤務　診療情報管理士室所属								
授業内容	ICD-10の仕組みを理化し、使用に際しての各章の特徴や留意事項を理解し、各章ごとの基本コーディングを習得する。								
学習目的	現場での実践を想定したICD-10コーディング技術、それに関連する腫瘍の分類コードを学ぶ。								
学習目標	各章の構成、各疾患の特徴を習得し国際疾病分類の仕組みを理解し、「内容例示表」「索引表」のルールを理解し、適切な疾病分類が出来る。								
使用テキスト	診療情報管理Ⅳ（専門・分類法編）、診療情報管理士教育問題集（専門・分類法編）								

週数	授業計画
1	コーディング演習１（第ＸＶ章：妊娠・分娩・産褥）
2	コーディング演習２（第ＸⅥ周産期に発生した病態）
3	コーディング演習３（第ＸⅨ章：損傷・中毒・その他の外因の影響）
4	コーディング演習４（第ＸＸ章：障害及び死亡の外因、第ＸＸＩ章：健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用）
5	コーディング演習５（第Ⅰ章、第Ⅲ章、第Ⅳ章）
6	コーディング演習６（第Ⅴ章、第Ⅵ章、第Ⅶ章）
7	コーディング演習７（第Ⅷ章、第Ⅸ章、第Ⅹ章）
8	コーディング演習８（第ＸⅠ章、第ＸⅡ章、第ＸⅢ章）
9	コーディング演習９（第ＸⅣ章、第ＸⅦ章、第ＸⅧ章）
10	コーディング演習１０（第ＸＸⅠ章、第Ⅱ章）
11	コーディング演習１１（第ＸⅤ章、第ＸⅥ章）
12	コーディング演習１２（第ＸⅨ章、第ＸＸ章）
13	コーディング演習１３（原死因コーディング）
14	コーディング演習１４(主要病態の選択、全体の補足）
15	コーディング演習１５（全体の補足）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	１．課　題　30 %	課題の提出　期限　完成度を考慮する　小テストの評価
	２．授業姿勢　30 %	積極的に授業に参加する姿勢
	３．テストその他　40 %	修了試験
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	診療情報管理士認定試験（2月）	

情報ビジネス 学科　　1　　年

科 目 名	TOEIC S&W ⅠA							学期	前　　期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	ネイティブ教員であり、大学等でも講師経験がある。								
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills in particular.								
授業内容	The language areas presented are taught within a comunicative framework and most of the activities are student-centered with pair work being an integral part of the course.								
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangements, dealing with problems, etc.								
使用テキスト	English Firsthand Acess with My Mobile World_Student Book / Passport to Work_Course Book / Passport to Work_Workbook								

週数	授業計画
1	English Firsthand, Access Unit 1: How are you? Passport to Work Unit 1: I'm in the computer business
2	English Firsthand, Access Unit 2: Do you understand? Passport to Work Unit 2: No, he's the boss!
3	English Firsthand, Access Unit 3: This is my room. Passport to Work Unit 3: This is where we have lunch
4	English Firsthand, Access Unit 4 : When do you get up? Passport to Work Unit 4: Can I use your phone?
5	English Firsthand, Access Unit 5: Who's that? Passport to Work Unit 5: How about some coffee?
6	English Firsthand, Access Unit 6: That's a great shirt! Passport to Work Unit 6: Can you meet me at the airport?
7	English Firsthand, Access Unit 7: I love weekends! Passport to Work Unit 7: I'll take care of'it
8	English Firsthand, Access Unit 8: Let's eat! Passport to Work Unit 8: What are the sales figures?
9	English Firsthand, Access Unit 9: I really enjoy it! Passport to Work Unit 9: Do you have an e-mail address?
10	English Firsthand, Access Unit 10: Welcome to my home. Passport to Work Unit 10: I'd like to work overseas
11	English Firsthand, Access Unit 11: Where did you go? Passport to Work Unit 11:What's your job like?
12	English Firsthand, Access Unit 12: Will I be famous?r Form & Email Passport to Work Unit 12: Would you like me to fax you the details?
13	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 13: What's the budget for the website?
14	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 14: I'll meet you at the north exit
15	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 15: Good luck in your new job!

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	40 ％	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)
	2．授業姿勢	30 ％	positive engagement in pair/group work
	3．テストその他	30 ％	tests in My Mobile World
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20％以上とし、授業姿勢は30％とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他			

情報ビジネス 学科					2年課程				1	年
科 目 名	TOEIC S&W I B							学期	前	期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
関係実務等	ネイティブ教員であり、大学等でも講師経験がある。									
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills in particular.									
授業内容	The language areas presented are taught within a comunicative framework and most of the activities are student-centered with pair work being an integral part of the course.									
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangements, dealing with problems, etc.									
使用テキスト	English Firsthand Success with My Mobile World_Student Book / Whaddaya Say?									

週数	授業計画
1	Success Unit 1: What's your name? Whaddaya Say? Unit 1: How's Your Femiey?
2	Success Unit 2: I love fashion! Whaddaya Say? Unit 2: Yours Is a Great Job!
3	Success Unit 3: How do you stay healthy? Whaddaya Say? Unit 3: I Have the Pertect Car for You
4	Success Unit 4: How do I get there? Whaddaya Say? Unit 4: Where Are the Bags of Chips?
5	Success Unit 5: What's that? Whaddaya Say? Unit 5: Do You Like the Internet?
6	Success Unit 6: What's your dream? Whaddaya Say? Unit 6: Let's Go Shopping
7	Success Unit 7: It was great! Whaddaya Say? Unit 7: What Are You Deing This Weekend?
8	Success Unit 8: How much do you know? Whaddaya Say? Unit 8: I Want to Have a Hamburger
9	Success Unit 9: She can really sing! Whaddaya Say? Unit 9: We're Going to See "The Monster That Ate Cleveland"
10	Success Unit 10: What do you like to do? Whaddaya Say? Unit 10: Can You See the Stage?
11	Success Unit 11: Of course you can. Whaddaya Say? Unit 11: What Can I Get You for Your Cold?
12	Success Unit 12: What happened next? Whaddaya Say? Unit 12: Take Bus 4 to Second Street
13	Success : Review Whaddaya Say? Unit 13: I'm Going to Try to Find a Job
14	Success : Review Whaddaya Say? Unit 14: I've Got to Check Your Teeth
15	Success : Review Whaddaya Say? Unit 15: I Used to Be an Engineer for the Railroad

	評価項目/割合		評 価 内 容
評 価 基 準	1．課 題	40 %	Assignments in My Mobile World
	2．授業姿勢	30 %	positive engagement in in-class activities
	3．テストその他	30 %	tests in My Mobile World
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
課外授業実施予			

情報ビジネス 学科	2年課程	1 年

科 目 名	TOEIC S&W II A							学期	前	期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
関係実務等	ネイティブ教員であり、大学等でも講師経験がある。									
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills in particular.									
授業内容	The language areas presented are taught within a comunicative framework and most of the activities are student-centered with pair work being an integral part of the course.									
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangements, dealing with problems, etc.									
使用テキスト	English Firsthand Book 1 with My Mobile World_Student Book / Whaddaya Say?									

週数	授業計画
1	English Firsthand, Book 1 Unit 1: It's nice to meet you.
2	English Firsthand, Book 1 Unit 2: Who are they talking about?
3	English Firsthand, Book 1 Unit 3: When do you start?
4	English Firsthand, Book 1 Unit 4 : Where does this go?
5	English Firsthand, Book 1 Unit 5: How do I get there?
6	English Firsthand, Book 1 Unit 6: What happened?
7	English Firsthand, Book 1 Unit 7: I'd love that job.
8	English Firsthand, Book 1 Unit 8: What's playing?
9	English Firsthand, Book 1 Unit 9: What are you going to do?
10	English Firsthand, Book 1 Unit 10: How much is this?
11	English Firsthand, Book 1 Unit 11: How do you make it?
12	English Firsthand, Book 1 Unit 12: Listen to the music.
13	English Firsthand, Book 1: Review
14	English Firsthand, Book 1: Review
15	English Firsthand, Book 1: Review

	評価項目/割合		評 価 内 容
評 価 基 準	1．課 題	40 %	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)
	2．授業姿勢	30 %	positive engagement in pair/group work
	3．テストその他	30 %	tests in My Mobile World
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他			

情報ビジネス 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	TOEIC L&R IA（Low）							学期	前	期
担当教員	藤田登久	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
関係実務等	英語教師として長く予備校で指導していた。									
学習目的	英語の基本から学び直しながら、英語⇔日本語の広く深い理解をめざす。									
授業内容	たんなる知識の整理整頓に終わらず、実用性を強く意識しながら、授業に個別指導を組み入れていく。									
学習目標	１年後の参加者全員のTOEIC平均点＝４００点クリア！									
使用テキスト	①「Basic Grammar in Use」　②「Basic Vocabulary in Use」									

週数	授業計画
1	テキスト① Unit １・２　　テキスト② １～２ページ進む
2	テキスト① Unit ３・４　　テキスト② １～２ページ進む
3	テキスト① Unit ５・６　　テキスト② １～２ページ進む
4	テキスト① Unit ７・８　　テキスト② １～２ページ進む
5	テキスト① Unit ９・１０　　テキスト② １～２ページ進む
6	テキスト① Unit １１・１２　　テキスト② １～２ページ進む
7	Review　（１～６）
8	テキスト① Unit １３・１４　　テキスト② １～２ページ進む
9	テキスト① Unit １５・１６　　テキスト② １～２ページ進む
10	テキスト① Unit １７・１８　　テキスト② １～２ページ進む
11	テキスト① Unit １９・２０　　テキスト② １～２ページ進む
12	テキスト① Unit ２１・２２　　テキスト② １～２ページ進む
13	テキスト① Unit ２３・２４　　テキスト② １～２ページ進む
14	テキスト① Unit ２５・２６　　テキスト② １～２ページ進む
15	Review　（８～１４）

	評価項目/割合		評 価 内 容
評 価 基 準	１．課 題	30 ％	課題提出は積極的か。
	２．授業姿勢	30 ％	発言は積極的か。
	３．テストその他	40 ％	復習はちゃんとやっているか。
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20％以上とし、授業姿勢は30％とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	今年の７月、あるいは来年の１月にTOEICを受験し、平均４００点クリアをめざす。．		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	TOEIC L&R IB（Low）							学期	後	期
担当教員	藤田登久	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
関係実務等	英語教師として長く予備校で指導していた。									
学習目的	英語の基本から学び直しながら、英語⇔日本語の広く深い理解をめざす。									
授業内容	たんなる知識の整理整頓に終わらず、実用性を強く意識しながら、授業に個別指導を組み入れていく。									
学習目標	１年後の参加者全員のTOEIC平均点＝４００点クリア！									
使用テキスト	①「Basic Grammar in Use」　②「Basic Vocabulary in Use」									

週数	授業計画
1	テキスト① Unit ２７・２８　　テキスト② １～２ページ進む
2	テキスト① Unit ２９・３０　　テキスト② １～２ページ進む
3	テキスト① Unit ３１・３２　　テキスト② １～２ページ進む
4	テキスト① Unit ３３・３４　　テキスト② １～２ページ進む
5	テキスト① Unit ３５・３６　　テキスト② １～２ページ進む
6	テキスト① Unit ３７・３８　　テキスト② １～２ページ進む
7	Review　（Unit ２７～３８）
8	テキスト① Unit ３９・４０　　テキスト② １～２ページ進む
9	テキスト① Unit ４１・４２　　テキスト② １～２ページ進む
10	テキスト① Unit ４３・４４　　テキスト② １～２ページ進む
11	テキスト① Unit ４５・４６　　テキスト② １～２ページ進む
12	テキスト① Unit ４７・４８　　テキスト② １～２ページ進む
13	テキスト① Unit ４９・５０　　テキスト② １～２ページ進む
14	テキスト① Unit ５１・５２　　テキスト② １～２ページ進む
15	Review　（３９～５２）

	評価項目/割合		評 価 内 容
評 価 基 準	１．課 題	30 ％	課題提出は積極的か。
	２．授業姿勢	30 ％	発言は積極的か。
	３．テストその他	40 ％	復習はちゃんとやっているか。
目標検定・課外授業実施予定・その他	今年の７月、あるいは来年の１月にTOEICを受験し、平均４００点クリアをめざす。 .		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	TOEIC L&R Ⅱ A（Low）							学期	前	期
担当教員	藤田登久	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
関係実務等	英語教師として長く予備校で指導していた。									
学習目的	英語の基本から学び直しながら、英語⇔日本語の広く深い理解をめざす。									
授業内容	たんなる知識の整理整頓に終わらず、実用性を強く意識しながら、授業に個別指導を組み入れていく。									
学習目標	参加者全員のTOEIC平均点＝４５０点クリア！									
使用テキスト	①「Basic Grammar in Use」　②「Basic Vocabulary in Use」　＊ TOEICの過去問セレクト									

週数	授業計画
1	テキスト① Unit ５３・５４　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
2	テキスト① Unit ５５・５６　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
3	テキスト① Unit ５７・５８　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
4	テキスト① Unit ５９・６０　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
5	テキスト① Unit ６１・６２　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
6	テキスト① Unit ６３・６４　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
7	Review　（Unit ５３～６４）
8	テキスト① Unit ６５・６６　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
9	テキスト① Unit ６７・６８　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
10	テキスト① Unit ６９・７０　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
11	テキスト① Unit ７１・７２　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
12	テキスト① Unit ７３・７４　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
13	テキスト① Unit ７５・７６　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
14	テキスト① Unit ７７・７８　テキスト② １～２ページ進む　＊ TOEICの過去問セレクト
15	Review　（６５～７８）

	評価項目/割合		評 価 内 容
評 価 基 準	１．課 題	30 ％	課題提出は積極的か。
	２．授業姿勢	30 ％	発言は積極的か。
	３．テストその他	40 ％	復習はちゃんとやっているか。
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEICを受験し、平均４５０点クリアをめざす。．		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	EIC L&S Ⅰ A (English for International Communication Listening & Speaking)							学期	前　　期
担当教員	TBA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	英語教材開発会社に勤務するネイティブ教員である。								
学習目的	富山の観光名所・特産品・文化・芸術について英語で学習することを通して、英語Listening & Speaking Skill の強化をはかる								
授業内容	各単元の「単語・熟語」「重要表現に発音やリズム」等についてロールプレー中心にペアワーク・グループワーク等の演習形式で学ぶ								
学習目標	英語による富山の観光名所や特産品の説明を理解するとともに、訪日観光客へ英語で説明できるようになる								
使用テキスト	Let's talk about KITOKITO Toyama　（とやま英語ハンドブック）　※学校独自に製作した動画を使用								

週数	授業計画
1	Chapter 1　Living in harmony with nature　自然と人間の共生 1　The circulation of precious water／かけがえのない命の水の循環
2	Chapter 1　Living in harmony with nature　自然と人間の共生 2　Eff orts to live in harmony with nature／自然と人間の共生の努力
3	Chapter 1　Living in harmony with nature　自然と人間の共生 3　Tateyama and Kurobe, treasures of Toyama／富山の宝　立山・黒部 .
4	Reivew & Presentation * Chapter 1の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う（準備と発表）
5	Field Work：富山県内の観光名所①
6	Field Work：富山県内の観光名所②
7	Chapter 2　Safety & Disaster Prevention 安全・防災 1　Forests and dams to prevent landslides／山々の崩れを防ぐ森と堰堤
8	Chapter 2　Safety & Disaster Prevention 安全・防災 2　Overcoming disasters and modern city planning／災害の克服と近代都市建設
9	Chapter 2　Safety & Disaster Prevention 安全・防災 3　Overcoming a pollution disease／公害を乗り越えて
10	Reivew & Presentation * Chapter 2の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う（準備と発表）
11	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学 1　Human resources and the modern industry developed by the pharmaceutical industry／売薬が生んだ人と近代産業
12	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学 2　Toyama, a prefecture of manufacturing／ものづくり県富山
13	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学 3　Endeavors and achievements by scientists／科学者たちの努力と功績
14	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学 4　Land, sea and air transportation networks／陸・海・空の交通ネットワーク
15	Reivew & Presentation * Chapter 3の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う（準備と発表）

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	30 %	Dictation（書き取り）のほか、暗唱、朗読などの Recitation （口頭発表）、ロールプレイ 、グループワークを評価します
	2．授業姿勢	30 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話しようとする態度などです。
	3．テストその他	40 %	各単元（Unit）終了ごとに Mini Test を行います
目標検定・課外授業実施予定・その他	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。 後期1月にTOEIC テストを実施します		

情報ビジネス 学科					2年課程			1	年
科 目 名	EIC (English for International Communication) L&S Ⅰ B							学期	前 期
担当教員	TBA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	英語教材開発会社に勤務するネイティブ教員である。								
学習目的	富山の観光名所・特産品・文化・芸術について英語で学習することを通して、英語Listening & Speaking Skill の強化をはかる								
授業内容	各単元の「単語・熟語」「重要表現に発音やリズム」等についてロールプレー中心にペアワーク・グループワーク等の演習形式で学ぶ								
学習目標	英語による富山の観光名所や特産品の説明を理解するとともに、訪日観光客へ英語で説明できるようになる								
使用テキスト	Let's talk about KITOKITO Toyama （とやま英語ハンドブック） ※学校独自に製作した動画を使用								

週数	授業計画
1	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史 1 The beauty of traditional buildings and their meaning in modern society／伝統建築の美と現代的な意義
2	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史 2 Rich local culture／豊かな郷土文化
3	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史 3 The ancient history of Toyama ／「越の国」から越中、加賀藩・富山藩、そして富山県へ
4	Reivew & Presentation * Chapter 3～4のなかから個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う（準備と発表）
5	Field Work：富山県内の観光名所③
6	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術 1 Etchu Man'yo : Beautiful scenery of Etchu kept in excellent waka poems ／越中万葉 秀歌に残る越中の風景
7	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術 2 A prefecture advanced in the arts／芸術の先進地富山
8	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術 3 Leaders in literature／文学創造の担い手
9	Reivew & Presentation * Chapter 5 の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う（準備と発表）
10	Chapter 6 Welfare & Sports 福祉・スポーツ 1 Toyama, a prefecture of welfare／福祉の富山
11	Chapter 6 Welfare & Sports 福祉・スポーツ 2 Toyama is active in sports／スポーツが盛んな富山
12	Reivew & Presentation * Chapter 6 の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う（準備と発表）
13	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て 1 One of the best places to live／住みよさ全国トップクラス
14	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て 2 A prefecture of education and passion to develop people／人を育てる熱意 教育県富山
15	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て 3 Traditional culture of slow food／伝統が今に生きるスローフードの食文化

	評価項目/割合		評 価 内 容
評 価 基 準	1．課 題	30 %	Dictation（書き取り）のほか、暗唱、朗読などの Recitation （口頭発表）、ロールプレイ 、グループワークを評価します
	2．授業姿勢	30 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話しようとする態度などです。
	3．テストその他	40 %	各単元（Unit）終了ごとに Mini Test を行います
目標検定・課外授業実施予定・その他	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。 後期1月にTOEIC テストを実施します		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　1　　年

科 目 名	業務効率化リテラシーＩＡ							学期	後　　期
担当教員	伊勢　豪範、地村　未知弘	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
関係実務等	両氏とも会社経営者であり、データマーケティングを積極的に導入している。								
学習目的	営業・マーケティング人材に必要となる業務プロセスについて基礎知識を養い、効率化の事例を知り、 何を効率化できるか発想する力（デザイン思考）を養う。								
授業内容	業務プロセスのＤＸ事例学習を通じ、ビジネスシーンで導入される業務効率化ツールRobotic Process Automation（ＲＰＡ）の基礎を学習する。さらに、ビジネスの効率化のための数値管理の考え方を学ぶ。								
学習目標	業務効率化の必要性を言語化できる。ＲＰＡの基本操作ができる。事例研究において、ビジネスの効率化のために役立つ数値管理の方法を提案できる。								
使用テキスト	授業時に配布								

週数	授業計画
1	ビジネスの理解と変革を考える：ビジネスモデルと業務プロセス
2	ビジネスの理解と変革を考える：業務を改革するための事例：DX
3	発散する意見をどうまとめるか：グループワークの手法、意見のまとめ方
4	ＲＰＡとは何か？RPAで出来るビジネスの業務効率化と身につくデザイン思考（STEP０）
5	ＲＰＡ初級編（STEP１）
6	ＲＰＡ初中級編（STEP２）
7	ＲＰＡ初中級編のおさらい～中級編（STEP２～STEP３）
8	ＲＰＡ中級編のおさらいと応用編（STEP3）
9	ＲＰＡWeb講座（STEP４）
10	ＲＰＡWeb講座のおさらいと応用編（STEP４～STEP５）
11	ＲＰＡエクセル講座のおさらいと応用編（STEP５）
12	ＲＰＡを用いたワークショップ（プロジェクトを組んで課題に取り組んでみよう）
13	ＲＰＡプロジェクト発表と今後のビジネスの業務効率化に求められていること
14	数値の見方・捉え方/数値のコントロール：ビジネスで数値を見る（平均値の罠）ーExcelでグラフを作らない。BIツール
15	数値の見方・捉え方/数値のコントロール：見る数値を見極める/数値のコントロール

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	１．課　題	60 ％	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	２．授業姿勢	30 ％	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	３．テストその他	10 ％	テスト、最終成果物発表
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	デジタルマーケティングⅡＡ							学期	前　期
担当教員	地村　未知弘	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
関係実務等	会社経営者であり、データマーケティングを積極的に導入している。								
学習目的	ＷＥＢの基礎知識およびインターネットマーケティングの知識と運用方法を学び、企業の経営戦略と連動したＷＥＢブランディング力を身につける。								
授業内容	検定テキストを用いて、企業におけるインターネットマーケティング業務に必要とされる全般的な知識と運用方法を学ぶ。								
学習目標	ネットマーケティング検定取得を目指す。								
使用テキスト	授業時に配布								

週数	授業計画
1	インターネットマーケティング　サンプルテスト
2	インターネットマーケティング概論①
3	インターネット技術概論①
4	インターネット技術概論②
5	インターネットマーケティング各論①リサーチ
6	インターネットマーケティング各論②ＰＲ／ブランディング
7	インターネットマーケティング各論③ＰＲ／ブランディング
8	インターネットマーケティング各論④広告
9	インターネットマーケティング各論⑤広告
10	インターネットマーケティング各論⑥販売
11	インターネットマーケティング各論⑦販売
12	インターネットマーケティング各論⑧アクセスログ解析
13	関連知識①外注管理とポリシー
14	関連知識②情報セキュリティと法規
15	事例問題

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	40 ％	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 ％	出席率、積極的なコミュニケーション
	3．テストその他	30 ％	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　2　　年

科 目 名	デジタルマーケティングⅡＢ							学期	後　　期
担当教員	地村　未知弘	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
関係実務等	会社経営者であり、データマーケティングを積極的に導入している。								
学習目的	インターネットマーケティングの知識を活用し、実際に、ＳＮＳを含むインターネットマーケティングを実践する。効果検証をふまえた再実践を行い、プロジェクトサイクル運用を学ぶ。								
授業内容	様々なインターネットマーケティング手法を、ツールを用いて実践する。								
学習目標	インターネットやソーシャルメディア別のマーケティングの特徴を理解し、目的に合った運用方法を学ぶ								
使用テキスト	未定								

週数	授業計画
1	プロジェクトデザイン
2	同上
3	プロジェクト計画
4	同上
5	プロジェクト実践
6	同上
7	同上
8	効果検証
9	同上
10	プロジェクト再実践
11	同上
12	同上
13	効果検証
14	同上
15	学習まとめ

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	60 ％	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 ％	出席率、積極的なコミュニケーション
	3．テストその他	10 ％	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　1　　年

科 目 名	マーケティングＩＡ（マーケティング基礎）							学期	前　　期
担当教員	法　育実	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	コンサルティング会社に勤務しており、マーケティング部門のリーダーを務めている。								
学習目的	マーケティングの基礎知識に関する理解を深め、様々な企業の取り組みを分析する中で、マーケティングの軸である「売れる仕組みづくり」を学ぶ。思考力、プレゼンテーション能力、グループ討議力や社会性、創造性、国際性を身につける。								
授業内容	マーケティングの基礎を理解した上で、様々な企業の取り組みを分析し、文章にまとめる。								
学習目標	自分の考えを整理し、わかりやすく伝えることが出来る。言葉や文章で簡潔に要点を伝えることができる。資料を調べたり人の意見を聞いたりし、問題発見、解決ができる。								
使用テキスト	なるほど！ これでよくわかった 3訂版 図解 よくわかるこれからのマーケティング								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	マーケティングとはなにかを理解する	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
2	企業戦略とマーケティングの関係性を理解する	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
3	４Ｐと４Ｃからマーケティングのあり方を考える	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
4	環境分析手法を理解する	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
5	ニーズの把握の必要性と手法を理解する	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
6	セグメンテーションの必要性と手法を理解する	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
7	ターゲティングの必要性と手法を理解する	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
8	ポジショニングの必要性と手法を理解する	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
9	製品戦略のあり方を考える	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
10	価格戦略のあり方を考える	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
11	流通戦略のあり方を考える	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
12	コミュニケーション戦略のあり方を考える	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
13	企業事例分析①	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
14	企業事例分析②	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認
15	企業事例分析③	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	40 ％	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 ％	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	3．テストその他	30 ％	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	マーケティングＩＢ（WEB広告マーケティング）							学期	後　期
担当教員	清瀬　稜太	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	HP制作会社に勤務しており、サイトを利用したマーケティングを担当している。								
学習目的	WEBマーケティングの概要から代表的な手法までを学び、クライアントの課題解決に向けた提案力を身につける。								
授業内容	様々なwebマーケティング手法を、実例やツールを用いて学習する。								
学習目標	クライアントの課題に対する解決方法を考え、伝わるように提案できる。								
使用テキスト	なし								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	WEBマーケティングとは？	【事前】	
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
2	WEBサイトの仕組み	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
3	様々なWEBマーケティング手法を知ろう	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
4	WEBマーケティングの目標とターゲット設定について	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
5	成果に繋がるWEBサイト設計について	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
6	WEBサイトへの集客について① WEB広告	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
7	WEBサイトへの集客について② SEO	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
8	WEBサイトへの集客について③ SNS	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
9	WEBサイトの効果を測定しよう（Google Analytics）	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
10	測定した効果を元に集客とWEBサイトを改善する（Google Analytics）	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
11	企業の課題を聞いてみよう	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
12	提案内容を考えてみよう①	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
13	教室でのプレゼン	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
14	提案内容を考えてみよう②	【事前】	講師の指示に沿って予習
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
15	実際に提案してみよう	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	40 ％	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 ％	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	3．テストその他	30 ％	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	顧客理解ⅡＡ							学期	前　期
担当教員	法　育実	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
関係実務等	コンサルティング会社に勤務しており、マーケティング部門のリーダーを務めている。								
学習目的	適切な顧客データ管理と顧客理解のためのデータ分析を通じて、ロイヤル顧客づくりのための新しい価値・サービスの提案力を身につける。								
授業内容	顧客理解の重要性を理解し、顧客データの活用方法を実践的な演習を通じて身につける								
学習目標	顧客理解の考え方を知る。エクセルでの顧客データベースづくり、顧客管理ツールの使い方の習得と分析スキルの獲得。								
使用テキスト	未定								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	顧客とビジネス	【事前】	
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
2	顧客起点のマーケティングの考え方	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
3	顧客ニーズの把握とロイヤル顧客づくりのための新しい価値提案	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
4	顧客データ管理と顧客別売上管理	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
5	顧客管理データベースの作り方：エクセル	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
6	顧客管理データベースのデータ分析：エクセル	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
7	顧客管理データベースのデータ分析：エクセル	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
8	顧客管理データベースのデータ分析：エクセル	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
9	顧客管理ツールの使い方：ＣＲＭ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
10	顧客管理ツールの使い方：ＣＲＭ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
11	顧客管理ツールの使い方：ＣＲＭ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
12	顧客管理ツールの使い方：ＣＲＭ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
13	顧客管理ツールの使い方：ＣＲＭ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
14	顧客理解・顧客接点の課題	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
15	学習まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	40 ％	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 ％	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	3．テストその他	30 ％	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	リサーチ・コミュニケーションⅡA（ファシリテーション）							学期	前　期
担当教員	三宅　可倫	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	データマーケティング講座を自治体職員を対象に多数行っている。								
学習目的	多様な立場からの意見を引き出し、整理し、意見交換や合意形成を進行するファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける								
授業内容	集団における合意形成とメンバーの協働を促すファシリテーションの技術を習得する。ファシリテーションを参加者として体験するだけでなく、企画者・推進役として実際にファシリテーションを企画、実施する。								
学習目標	①場づくりの技法としてのファシリテーションの意義を理解できる。②場づくりの基本的な技法を獲得できる。③実際にワークショップ・ワークショップ型の話合いを企画・実								
使用テキスト	未定								

週数	授業計画
1	ファシリテーションが求められる社会的背景とファシリテーションの意義
2	ファシリテーターのあり方とファシリテーションの技法
3	ファシリテーション体験
4	同上
5	ファシリテーションの手順と技法
6	同上
7	同上
8	同上
9	ファシリテーション実践
10	同上
11	同上
12	ファシリテーション応用：グループ・インタビューの技法と実践
13	同上
14	同上
15	学習のふりかえり

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	60 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 %	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	3．テストその他	10 %	学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　1　　年

科 目 名	プレゼンテーションⅠA							学期	後　　期
担当教員	尾藤　光	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	コンサルティング会社に勤務しており、コミュニケーション講座を多数行っている。								
学習目的	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、社会人となったときに、即戦力となるための「プレゼンテーション能力の基礎」を身につける。								
授業内容	①「伝える技術」情報収集、話す順序、内容選定、構成、観客のセットアップ、話すときの抑揚など ②「伝わるデザイン」パワポ作成技術、作成時短ツールの使い方、素材の集め方、色やフォントなど体裁 講義の他、プレゼンテーションにチャレンジしていただく複数の場面を作り、場数をこなしてもらいます。								
学習目標	プレゼンテーション資料の準備段階での情報収集、思考方法、作成方法を知り、実際にプレゼンテーションによって自己を表現することができる。								
使用テキスト	『伝わるデザインの基本 増補改訂3版 よい資料を作るためのレイアウトのルール』高橋 佑磨著、技術評論社								

週数	授業計画
1	オリエンテーション　プレゼン資料作成の前にやるべき10のポイント「自己紹介プレゼン」
2	伝える技術-シナリオ作成術
3	伝える技術-基本編
4	伝える技術-準備編
5	伝わるデザイン-パワーポイントの使い方
6	伝わるデザイン-Googleスライドの使い方
7	伝わるデザイン-InstagramとCanvaの使い方
8	伝える技術-表現編
9	伝える技術-データ編
10	伝わるデザイン-ビジュアル編
11	伝える技術-ブラッシュアップ編
12	プレゼンテーション演習①
13	プレゼンテーション演習②
14	プレゼンテーション演習③
15	プレゼンテーション演習④

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 %	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	3．テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	デジタルビジュアライゼーションⅠA（グラレコ・コンセプト）							学期	後　期
担当教員	島田美沙	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	コンサルティング会社に勤務しており、コミュニケーション講座を多数行っている。								
学習目的	情報整理力・可視化力・伝達力を高めるグラフィックレコーディングに関する知識とスキルを実践的に学ぶ。 表現、要約、図解、レイアウトのスキルを身につけ、「わかりやすく伝える」ための基本を学びます。								
授業内容	グラフィックレコーディングを使い、学校の特徴や魅力を紹介する「グラレコ」を完成させ、発表する。								
学習目標	可視化するメリットを理解し、グラフィックレコーディングを思考整理や会議で活用できる。事柄を的確に要約し、わかりやすく表現することができる。								
使用テキスト	ファシリテーショングラフィック　議論を「見える化」する技法／堀公俊・加藤彰								

週数	授業計画
1	基礎編①グラフィックレコーディングとは、グラフィックレコーディングの活用場面、初期講座①
2	基礎編②グラフィックレコーディングの効用、初期講座②
3	基礎編③グラフィックレコーディングの心得＆要約のポイント、初期講座③
4	実技編①動画をグラレコする
5	実技編②記事をグラレコする
6	実技編③1on１をグラレコする
7	模造紙でグラレコする①ペンやクレヨンの使い方
8	模造紙でグラレコする②模造紙でグラレコを描く
9	応用編①複数人グループでグラレコする
10	応用編②広告記事の作成
11	実践編①グラフィックレコーディングでの学校紹介、掲載内容についての意見交換
12	実践編②掲載内容の詳細決定、情報収集
13	実践編③仮レイアウト作成
14	実践編④グラフィックレコーディングの製作
15	完成したグラフィックレコーディングの発表、振り返り

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	60 %	課題・提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 %	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	3．テストその他	10 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

情報ビジネス 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	情報リテラシーⅡA							学期	後　期
担当教員	清瀬　稜太	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	HP制作会社に勤務しており、サイトを利用したマーケティングを担当している。								
学習目的	情報取り扱いに関わる法律や著作権の意義、仕組みを理解し、情報を扱う職業人としてのリテラシーを高める								
授業内容	個人情報、企業機密データ、著作物の適切な取り扱いについての基本的な知識を学ぶ。事例学習を通じて、実践的な対応についても理解を深める。								
学習目標	企業や個人情報を取り扱う際に必要となる法規や社会規範を理解している。データや著作権を適正に取り扱う手順を理解している。								
使用テキスト	未定								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	イントロダクション	【事前】	
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
2	個人情報保護法の理解	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
3	個人情報に関連する事件・事故	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
4	個人情報に関連する事件・事故	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
5	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：脅威と対策	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
6	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：組織体制の整備	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
7	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：実務知識	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
8	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：オフィスセキュリティ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
9	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：技術的管理の実務知識	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
10	著作権保護と侵害	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
11	著作権保護と侵害	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
12	事例研究：企業におけるデータ管理の実態	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
13	事例研究：企業におけるデータ管理の実態	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
14	事例研究：企業におけるデータ管理の実態	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
15	学習の振り返り、まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1．課　題	30 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2．授業姿勢	30 %	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	3．テストその他	40 %	テスト、学習成果総括レポート
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

インターナショナルビジネス 学科　　2　　年

科 目 名	リテールマーケティング（販売士）演習ⅡB							学期	後　　期
担当教員	本保 智	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1
関係事務等	平成３年～８年　株式会社ジェック経営コンサルタント　勤務。マーケティング調査等の業務担当。								
学習目的	日本の小売販売店の基本的なしくみを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につけ、販売業務を行うことができること。								
授業内容	日本の小売販売店の基礎を学びを通じて日本語能力も養う。講義の内容の復習、検定合格のための演習を行なう。								
学習目標	リテールマーケティング（販売士）3級合格								
使用テキスト	レクチャー＆トレーニング 日商リテールマーケティング3級、リテールマーケティング(販売士)検定3級問題集								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	ストアオペレーション、授業の復習テスト	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
2	ストアオペレーション、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
3	ストアオペレーション、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
4	マーケティング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
5	マーケティング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
6	マーケティング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
7	マーケティング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
8	マーケティング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
9	マーケティング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
10	販売・経営管理、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
11	販売・経営管理、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
12	販売・経営管理、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
13	販売・経営管理、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
14	販売・経営管理、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
15	まとめ、ミニテスト、模試	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	1．課 題　50 %	プリント、レポートの提出
	2．授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、ワークへの取り組み
	3．テストその他　20 %	シミュレーションを通して理解度をはかる。
目標検定・課外授業実施予定・その他	日商リテールマーケティング3級（２月）	

インターナショナルビジネス 学科　　2　　年

科 目 名	リテールマーケティング（販売士）演習ⅡA							学期	前　　期
担当教員	本保 智	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1
関係事務等	平成３年～８年　株式会社ジェック経営コンサルタント　勤務。マーケティング調査等の業務担当。								
学習目的	日本の小売販売店の基本的なしくみを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につけ、販売業務を行うことができること。								
授業内容	日本の小売販売店の基礎を学びを通じて日本語能力も養う。講義の内容の復習、検定合格のための演習を行なう。								
学習目標	リテールマーケティング（販売士）3級合格								
使用テキスト	レクチャー＆トレーニング 日商リテールマーケティング3級、リテールマーケティング(販売士)検定3級問題集								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	小売業の類型、授業の復習テスト	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
2	小売業の類型、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
3	小売業の類型、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
4	小売業の類型、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
5	小売業の類型、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
6	小売業の類型、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
7	マーチャンダイジング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
8	マーチャンダイジング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
9	マーチャンダイジング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
10	マーチャンダイジング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
11	マーチャンダイジング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
12	マーチャンダイジング、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
13	ストアオペレーション、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
14	ストアオペレーション、授業の復習テスト	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
15	まとめ、ミニテスト、模試	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	1．課 題　50 %	プリント、レポートの提出
	2．授業姿勢　30 %	出席率、授業中の態度、ワークへの取り組み
	3．テストその他　20 %	シミュレーションを通して理解度をはかる。
目標検定・課外授業実施予定・その他	日商リテールマーケティング3級（２月）	

インターナショナルビジネス 学科　　2　　年

科 目 名	リテールマーケティング（販売士）ⅡB							学期	後　　期
担当教員	本保 智	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
関係事務等	平成３年～８年　株式会社ジェック経営コンサルタント　勤務。マーケティング調査等の業務担当。								
学習目的	日本の小売販売店の基本的なしくみを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につけ、販売業務を行うことができること。								
授業内容	日本の小売販売店の基礎を学びを通じて日本語能力も養う。積極性を養うためのワークやシミュレーションも行う。								
学習目標	リテールマーケティング（販売士）3級合格								
使用テキスト	レクチャー＆トレーニング 日商リテールマーケティング3級								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	ストアオペレーション	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
2	ストアオペレーション	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
3	ストアオペレーション	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
4	マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
5	マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
6	マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
7	マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
8	マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
9	マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
10	販売・経営管理	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
11	販売・経営管理	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
12	販売・経営管理	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
13	販売・経営管理	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
14	販売・経営管理	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
15	まとめ、ミニテスト、模試	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評 価 基	1．課 題　50 ％	プリント、レポートの提出
	2．授業姿勢　30 ％	出席率、授業中の態度、ワークへの取り組み
	3．テストその他　20 ％	シミュレーションを通して理解度をはかる。
目標検定・課外授業実施予定・その他	日商リテールマーケティング3級（２月）	

インターナショナルビジネス 学科　　2　　年

科 目 名	リテールマーケティング（販売士）ⅡA							学期	前　　期
担当教員	本保 智	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
関係事務等	平成３年～８年　株式会社ジェック経営コンサルタント　勤務。マーケティング調査等の業務担当。								
学習目的	日本の小売販売店の基本的なしくみを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につけ、販売業務を行うことができること。								
授業内容	日本の小売販売店の基礎を学びを通じて日本語能力も養う。積極性を養うためのワークやシミュレーションも行う。								
学習目標	リテールマーケティング（販売士）3級合格								
使用テキスト	レクチャー＆トレーニング 日商リテールマーケティング3級								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	小売業の類型	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
2	小売業の類型	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
3	小売業の類型	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
4	小売業の類型	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
5	小売業の類型	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
6	小売業の類型	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
7	マーチャンダイジング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
8	マーチャンダイジング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
9	マーチャンダイジング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
10	マーチャンダイジング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
11	マーチャンダイジング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
12	マーチャンダイジング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
13	ストアオペレーション	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
14	ストアオペレーション	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
15	ストアオペレーション	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	1．課 題　50 ％	プリント、レポートの提出
	2．授業姿勢　30 ％	出席率、授業中の態度、ワークへの取り組み
	3．テストその他　20 ％	シミュレーションを通して理解度をはかる。
目標検定・課外授業実施予定・その他	日商リテールマーケティング3級（2月）	

インターナショナルビジネス 学科　　1　　年

科 目 名	マーケティング概論ＩＢ							学期	後　　期
担当教員	本保 智	科目区分	専門	授業方法	講義	分類	自由選択	単位数	2
関係事務等	平成３年～８年　株式会社ジェック経営コンサルタント　勤務。マーケティング調査等の業務担当。								
学習目的	理論としてのマーケティングを学ぶ、仕事をしていく上で必要不可欠なマーケティング・センスを養う学習をする。								
授業内容	理論としてのマーケティングを学ぶだけでなく、仕事をしていく上で必要不可欠なマーケティング・センスを養うことを目的とする。								
学習目標	理論としてのマーケティングを学ぶだけでなく、仕事をしていく上で必要不可欠なマーケティング・センスを身に付け理解する。								
使用テキスト	これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識（改訂版）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	マーケティングはデジタルの時代へ	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
2	eコマースが生んだ「eマーケティング」	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
3	Webマーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
4	メールマーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
5	ソーシャルメディア・マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
6	ネット通販が生んだロングテール	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
7	フリーミアムのビジネスモデル	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
8	ビッグデータとは	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
9	コンテンツ・マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
10	インバウンド・マーケティング	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
11	事例研究	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
12	事例研究	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
13	事例研究	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
14	事例研究	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
15	事例研究	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評 価 基	１．課 題　40 ％	課題の完成度、提出期限などを考慮して評価する。
	２．授業姿勢　30 ％	授業態度、積極性、発言度などを考慮して評価する。
	３．テストその他　30 ％	期末テストにより評価する。
目標検定・課外授業実施予定・その他		

インターナショナルビジネス 学科　　1　　年

科 目 名	マーケティング概論ＩＡ							学期	前　　期
担当教員	本保 智	科目区分	専門	授業方法	講義	分類	自由選択	単位数	2
関係事務等	平成３年～8年　株式会社ジェック経営コンサルタント　勤務。マーケティング調査等の業務担当。								
学習目的	理論としてのマーケティングを学ぶ、仕事をしていく上で必要不可欠なマーケティング・センスを養う学習をする。								
授業内容	理論としてのマーケティングを学ぶだけでなく、仕事をしていく上で必要不可欠なマーケティング・センスを養うことを目的とする。								
学習目標	理論としてのマーケティングを学ぶだけでなく、仕事をしていく上で必要不可欠なマーケティング・センスを身に付け理解する。								
使用テキスト	これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識（改訂版）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	マーケティングとは何か？	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
2	なぜマーケティングが必要なのか？	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
3	市場や販促などの考え方の基本	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
4	「消費者」「生活者」とは	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
5	消費者の購買動機　「消費者」「生活者」とは	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
6	市場をとらえて戦略を立てる　「消費者」「生活者」とは	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
7	「売れる戦略」をつくる	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
8	ヒット商品の条件	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
9	商品戦略	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
10	品質の定義	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
11	価格戦略	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
12	流通戦略	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
13	プロモーション戦略	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
14	プロモーション戦略	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
15	マーケティングの基本を確認する	【事前】	事前プリントを学習する。
		【事後】	プリント、レポートを提出する。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評 価 基	1．課 題　40 ％	課題の完成度、提出期限などを考慮して評価する。
	2．授業姿勢　30 ％	授業態度、積極性、発言度などを考慮して評価する。
	3．テストその他　30 ％	期末テストにより評価する。
目標検定・課外授業実施予定・その他		

インタナショナルビジネス 学科　　2　　年

科 目 名	ビジネス日本語ⅡA							学期	前　　期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	4
関係実務等	ビジネス能力検定１級を有し、企業における勤務経験もある。								
学習目的	企業内の諸活動において求められるビジネス文書について理解を深め、将来、職業人として適応できるリタラシーを身につける								
授業内容	テキストの内容に基づき、日本企業で求められる社会人知識・マナー等を解説し、練習問題を通して理解を深める								
学習目標	後期（12月）に受験する『B検3級』に合格する								
使用テキスト	2022年版 ビジネス能力検定ジョブパス3級　公式テキスト								

週数	授業計画
1	第１編 第1章　キャリアと仕事へのアプローチ
2	第１編 第2章　仕事の基本となる8つの意識
3	第１編 第3章　コミュニケーションとビジネスマナーの基本①
4	第１編 第3章　コミュニケーションとビジネスマナーの基本②
5	第１編 第4章　指示の受け方と報告・連絡・相談
6	第１編 第5章　話し方と聞き方のポイント
7	第１編 第6章　来客応対と訪問の基本マナー
8	第１編 第7章　会社関係でのつきあい
9	第2編 第1章　仕事への取り組み方
10	第2編 第2章　ビジネス文書の基本①
11	第2編 第2章　ビジネス文書の基本②
12	第2編 第3章　電話応対
13	第2編 第4章　統計・データの読み方・まとめ方
14	第2編 第5章　情報収集とメディアの活用
15	第2編 第6章　会社をとりまく環境と経済の基本

	評価項目/割合	評　価　内　容
評価基準	１．課　題　　30 ％	①テキストの日本語をスムーズに音読　②漢字の練習　の二つを中心に課題を指示します
	２．授業姿勢　　30 ％	出席と授業中の積極性（質問・発言等）を評価します。
	３．テストその　40 ％	単元終了ごとにミニテストを行います
目標検定・課外授業実施予定・その他	後期（12月）に受験する『B検3級』に合格しよう！	

インターナショナルビジネス 学科　　2　　年

科 目 名	ビジネスモデル演習ⅡA							学期	後　　期
担当教員	本保 智	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	1
関係事務等	平成３年～8年　株式会社ジェック経営コンサルタント　勤務。マーケティング調査等の業務担当。								
学習目的	マーケティングに関する知識を基に、社会課題解決につながる「収益を獲得できるビジネスモデル」を如何につくるのか、その基礎を学ぶ。								
授業内容	ビジネスモデル構築に必要な知識を身に付け、具体的な提案に結び付ける。								
学習目標	ビジネス知識やビジネスモデルの提案を通して、起業家の視点を持てるようにする。								
使用テキスト	【参考テキスト】マーケティングの基本と常識（１年次に使用のテキスト）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	ビジネスモデルの実例を学ぶⅠ	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
2	ビジネスモデルの実例を学ぶⅡ	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
3	経営ビジョンや経営目標がなぜ必要なのか	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
4	起業の動機	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
5	事業コンセプト確立のためのアイディア出しの方法を学ぶ	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
6	事業コンセプト確立	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
7	市場調査・分析（マーケット・セグメンテーション⇒ターゲティング）	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
8	マーケティング・ミックス（製品やサービス戦略）	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
9	マーケティング・ミックス（価格戦略）	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
10	マーケティング・ミックス（流通戦略）	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
11	マーケティング・ミックス（プロモーション戦略）	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
12	実施計画の作成（PDCAサイクルを廻す）	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
13	投資計画の立て方	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
14	損益計画（評価目標）の立て方	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。
15	実行計画の立て方	【事前】	テキストを読んでおく
		【事後】	プリント、レポートを提出する。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	1．課 題　20 ％	プリント、レポートの提出
	2．授業姿勢　30 ％	出席率、授業中の態度、ワークへの取り組み
	3．テストその他　50 ％	シミュレーションを通して理解度をはかる。
目標検定・課外授業実施予定・その他	日商リテールマーケティング3級（２月）	

公務員 学科　　1　　年

科 目 名	資料解釈1A							学期	前　　期
担当教員	山下　穣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
関係実務等	予備校において、数学の教員を務めていた。								
学習目的	初級公務員試験に向けて、資料解釈課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	資料の中の数字が表しているもの、数値を比較する際の基準点などを資料から読み取る方法を解説しながらの講義。問題集による演習を繰り返し、様々な問題を解								
学習目標	短時間で計算する力を養い、初級公務員試験問題が解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験　地方初級　国家一般職(高卒者)　第3版　判断推理・資料解釈(テキスト)公務員試験　地方初級　国家一般職(高卒者)　第3版　判断推理・資料解釈(問								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第1章　資料解釈の基礎	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
2	第1章　資料解釈の基礎	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
3	第1章　資料解釈の基礎	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
4	第2章　構成比	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
5	第2章　構成比	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
6	第2章　構成比	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
7	第3章　増減率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
8	第3章　増減率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
9	第3章　増減率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
10	第4章　指数	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
11	第4章　指数	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
12	第4章　指数	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
13	第5章　特殊なグラフ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
14	第5章　特殊なグラフ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
15	第5章　特殊なグラフ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	30 %	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方
	3. テストその他	40 %	確認テスト 期末試験
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験		

公務員 学科　　1　　年

科 目 名	数学1A							学期	前　　期
担当教員	山内　裕	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	学習塾を経営しており、小学生から高校生まで幅広く科目を教えている。								
学習目的	初級公務員試験に向けて、数学課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	テキストを中心として基本的な問題から応用問題までを解説しながらの講義。問題集による演習を繰り返し、どのような形態で出題されても対応できる実践力の養成								
学習目標	数学課題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題が解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験　地方初級　国家一般職(高卒者)　第3版　数学・数的推理(テキスト)公務員試験　地方初級　国家一般職(高卒者)　第3版　数学・数的推理(問題集)								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第1章　数と式 1. 整式の加法とと減法 2. 指数法則 3. 整式の乗法	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
2	4. 式の展開 5. 因数分解とその応用 6. 整式の除法	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
3	7. 平方根 8. 分母の有理化 9. 二重根号	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
4	第2章　方程式と不等式 1. 連立方程式 2. 2次方程式	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
5	3. 1次不等式 第3章　関数 1. 関数の基礎	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
6	3. $y=ax^2$　のグラフ 4. $y=a(x-p)^2+p$　のグラフ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
7	5. $y=ax^2+bx+c$ のグラフ6. 2次関数の最大・最小	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
8	第4章　関数のグラフと方程式・不等式 1. 関数のグラフと方程式の関係 2. 共有点の数と判別式の関係	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
9	3. 関数のグラフと不等式の関係 4. 2次不等式	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
10	第5章　三角比 1. 三角比の基礎 2. 三角比の応用	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
11	3. 鈍角の三角比 4. 三角比の相互関係	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
12	5. 三角形と三角比 第6章　数列 1. 数列の一般項	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
13	2. 等差数列 3. 等差数列の和	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
14	4. 等比数列 5. 等比数列の和	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
15	6. 確率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	30 %	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方
	3. テストその他	40 %	確認テスト 期末試験
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験		

公務員学科 学科　　1　　年

科 目 名	世界史1A							学期	前　　期
担当教員	山内　裕	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	学習塾を経営しており、小学生から高校生まで幅広く科目を教えている。								
学習目的	公務員試験合格の目標達成								
授業内容	基礎知識の定着の講義、定着確認のための演習、過去問の取組								
学習目標	例年1～2題出題の問題対策								
使用テキスト	公務員試験　地方初級　国家一般職(高卒者)　第3版　自然科学(テキスト)公務員試験　地方初級　国家一般職(高卒者)　第3版　自然科学(問題集)								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	古代史　講義	【事前】	無
		【事後】	無
2	中世西欧史　講義	【事前】	無
		【事後】	無
3	近世西欧史　講義	【事前】	無
		【事後】	無
4	近代史　講義	【事前】	無
		【事後】	無
5	東洋史　講義	【事前】	無
		【事後】	無
6	現代史　講義	【事前】	無
		【事後】	無
7	古代史　演習・解説	【事前】	無
		【事後】	課題
8	中世西欧史　演習・解説	【事前】	無
		【事後】	課題
9	近世西欧史　演習・解説	【事前】	無
		【事後】	課題
10	近代史　演習・解説	【事前】	無
		【事後】	課題
11	東洋史　演習・解説	【事前】	無
		【事後】	課題
12	現代史　演習・解説	【事前】	無
		【事後】	課題
13	過去問取組	【事前】	無
		【事後】	課題
14	過去問取組	【事前】	無
		【事後】	課題
15	過去問取組	【事前】	無
		【事後】	課題

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	20 %	授業中の演習の取り組み方
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか)
	3. テストその他	50 %	期末試験
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験		

公務員 学科　　1年課程　　1　年

科 目 名	地理ＩＡ							学期	前　期
担当教員	山内　裕	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	２
関係実務等	学習塾を経営しており、小学生から高校生まで幅広く科目を教えている。								
学習目的	初級公務員試験に向け、政治・経済分野をテーマごとに学習し基礎力を身に付け、さらに時事問題を参照しながら政治と経済の仕組みを把握することを目指す。								
授業内容	テーマごとに重要語句や仕組み、なぜそうなっているのかなどの背景について基礎を学び、時事問題を取り上げ応用力を付ける。								
学習目標	政治・経済の分野について、基礎力を身に付け、さらに時事問題と照らし合わせる学習を通して、政治と経済の仕組みを把握することを目指す。								
使用テキスト	地方初級・国家一般職（高卒者）社会科学（テキスト）　地方初級・国家一般職（高卒者）社会科学（問題集）								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第3編　地理 第1章　地図の図法	【事前】	ハンドブックの履修概要を読む。教科書をそろえる。テキストの該当ペ
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
2	第3編　地理 第2章　世界の地形	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
3	第3編　地理 第2章　世界の地形	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
4	第3編　地理 第3章　世界の気候	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
5	第3編　地理 第3章　世界の気候	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。
6	第3編　地理 第3章　世界の気候	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
7	第3編　地理 第4章　世界の産業	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
8	第3編　地理 第4章　世界の産業	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。
9	第3編　地理 第4章　世界の産業	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
10	第3編　地理 第5章　各国地誌、人種、言語①	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。
11	第3編　地理 第5章　各国地誌、人種、言語②	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
12	第3編　地理 第6章　人口問題、都市問題、環境問題	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
13	第3編　地理 第7章　日本の地誌	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
14	まとめ	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり
15	まとめ	【事前】	テキストの該当ページの予習
		【事後】	演習問題の復習ノートづくり

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	30 %	ノートづくり
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度
	3. テストその他	40 %	確認テストの結果
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験		

公務員 学科　　1　　年

科 目 名	化学1A							学期	前　　期
担当教員	山内　裕	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
関係実務等	学習塾を経営しており、小学生から高校生まで幅広く科目を教えている。								
学習目的	初級公務員試験に向けて、化学課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	テキストを中心として化学の基礎事項を整理し、代表的な化学反応例を解説しながらの講義。問題集による演習を繰り返し、演習に合わせた解法を把握する実践力								
学習目標	化学課題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題が解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験　地方初級　国家一般職(高卒者)　第3版　自然科学(テキスト)公務員試験　地方初級　国家一般職(高卒者)　第3版　自然科学(問題集)								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第1章　物質の構造	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
2	第1章　物質の構造	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
3	第1章　物質の構造	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
4	第2章　物質の三態変化	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
5	第3章　溶液	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
6	第3章　溶液	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
7	第4章　酸・塩基	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
8	第4章　酸・塩基	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
9	第5章　酸化・還元	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
10	第5章　酸化・還元	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
11	第5章　酸化・還元	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
12	第6章　無機化合物	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
13	第6章　無機化合物	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
14	第7章　有機化学	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。
15	第7章　有機化学	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	30 %	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方
	3. テストその他	40 %	確認テスト 期末試験
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験		